

DENON

CD/USB メディアプレーヤー & コントローラー

DN-S1200

取扱説明書

安全にお使いいただくために一必ずお守りください。

- お買い上げいただき、ありがとうございます。
- ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。
- お読みになった後は後日お役に立つこともありますので、必ず保存してください。

ご使用になる前に

安全上のご注意

正しく安全にお使いいただくため、ご使用の前に必ずよくお読みください。

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その絵表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

絵表示の例

図の中や近傍に具体的な禁止内容が描かれています。



感電注意

△記号は注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。



分解禁止

⊙記号は禁止の行為であることを告げるものです。



電源プラグをコンセントから抜け

●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。



電源プラグを
コンセント
から抜け

**万一異常が発生したら、
電源プラグをすぐに抜く**

- 煙や異臭、異音が出たとき
- 落したり、破損したとき
- 機器内部に水や金属類、燃えやすいものなどが入ったとき

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに本体と接続している機器の電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、安全を確認してから販売店にご連絡ください。お客様による修理などは危険ですので絶対におやめください。



必ず実施

ご使用は正しい電源電圧で

表示された電源電圧以外で使用しないでください。
火災・感電の原因となります。



必ず実施

電源コードは大切に

電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。また、重いものをのせたり、加熱したり、引っ張ったりすると電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。電源コードが傷んだら、すぐに販売店に交換をご依頼ください。



禁止

落したり、キャビネットを破損した場合は

まず本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



禁止

内部に水などの液体や異物を入れない

機器内部に水などの液体や金属類、燃えやすいものなどを差し込んだり、落し込んだりしないでください。
火災・感電の原因となります。
特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。



水ぬれ
禁止

水をかけたり、濡らしたりしない

雨天・降雪中・海岸・水辺での使用は特にご注意ください。
火災・感電の原因となります。



分解禁止

**ねじを外したり、
分解や改造したりしない**

内部には電圧の高い部分がありますので、火災・感電の原因となります。
内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。



接触禁止

雷が鳴り出したら

機器や電源プラグには触れないでください。
感電の原因となります。



水場での
使用禁止

**風呂・シャワー室では
使用しない**

火災・感電の原因となります。



水ぬれ
禁止

**この機器の上に花瓶・植木鉢・
コップ・化粧品・薬品や水など
が入った容器、および小さな金
属物を置かない**

こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。

注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、
人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。



必ず実施

電源コードは確実に接続し、束ねたまま使用しない

電源コードを接続するときは接続口に確実に差し込んでください。差し込みが不完全な場合、火災・感電の原因となることがあります。

根元まで差し込んでもゆるみがあるコンセントには接続しないでください。その場合、販売店や電気工事にコンセントの交換を依頼してください。

また、電源コードは束ねたまま使用しないでください。発熱し、火災の原因となることがあります。



禁止

電源コードを熱器具に近付けない

コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。



禁止

電源プラグを抜くときは

電源コードを引っ張らずに必ずプラグを持って抜いてください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。



禁止

この機器の上に小さな金属物を置かない

万一内部に異物が入った場合は、まず本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。



ぬれ手禁止

濡れた手で電源プラグを抜き差ししない

感電の原因となることがあります。



禁止

レーザー光源をのぞき込まない

レーザー光が目当たると視力障害を起こすことがあります。



必ず実施

機器の接続は説明書をよく読んでから接続する

テレビ・オーディオ機器・ビデオ機器などの機器を接続する場合は、電源を切り、各々の機器の取扱説明書に従って接続してください。

また、接続には指定のコードを使用してください。指定以外のコードを使用したり、コードを延長したりすると発熱し、やけどの原因となることがあります。



必ず実施

電源を入れる前には音量を最小にする

突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。



禁止

不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や傾いたところなど不安定な場所に置かないでください。落ちたり倒れたりして、けがの原因となることがあります。



禁止

次のような場所には置かない

- 火災・感電の原因となることがあります。
- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるようなところ
 - 湿気やほこりの多いところ
 - 直射日光の当たるところや暖房器具の近くなど高温になる場所



必ず実施

壁や他の機器から少し離して設置する

放熱をよくするために、他の機器との間は少し離して置いてください。ラックなどに入れるときは、機器の天面や背面から少し隙間をあけてください。内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。



禁止

通風孔をふさがない

内部の温度上昇を防ぐため、通風孔が開けてあります。次のような使いかたはしないでください。内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

- あお向けや横倒し、逆さまにする
- 押し入れ・専用のラック以外の本箱など風通しの悪い狭い場所に押し込む
- テーブルクロスをかけたり、じゅうたん・布団の上に置いて使用する



禁止

この機器に乗ったり、ぶら下がったりしない

特に幼いお子様のいるご家庭では、ご注意ください。倒れたり、壊れたりして、けがの原因となることがあります。



禁止

重いものをのせない

機器の上に重いものや外枠からはみ出るような大きなものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。



必ず実施

移動させる場合は

まず電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続コードなど外部の接続コードを外してからおこなってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

この機器の上にテレビなどを載せたまま移動しないでください。倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。



禁止



必ず実施

機器の接続は説明書をよく読んでから接続する

オーディオ機器などの機器を接続する場合は、電源を切り、各々の機器の取扱説明書に従って接続してください。また接続は指定のコードを使用してください。指定以外のコードを使用したり、コードを延長したりすると発熱し、やけどの原因となることがあります。



必ず実施

長期間の外出・旅行のとき、またはお手入れのときは

安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災・感電の原因となることがあります。



必ず実施

お手入れの際は

安全のため電源プラグをコンセントから抜いておこなってください。感電の原因となることがあります。



注意

5年に一度は内部の掃除を

販売店などにご相談ください。内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。

特に、湿気の多くなる梅雨期の前におこなうと、より効果的です。なお、内部の掃除費用については販売店などにご相談ください。

総目次

ご使用になる前に

付属品について	1
取り扱い上のご注意	2
換気についてのご注意	2
ディスクについて	2
ディスクの持ちかた	2
ディスクのお手入れのしかた	2
取り扱いについてのご注意	2
保存についてのご注意	2
ディスクを装着する際のご注意	2
主な特徴	3
各部の名前とはたらき	4
トップパネル	4、5
フロントパネル	6
リアパネル	6
ディスプレイ	7

接続のしかた

準備	8
接続されているデバイスについて	9
デバイスを切り替える	9

再生のしかた

CD で再生する曲を選択する	10
USB で再生する曲を選択する	10、11
ファイル再生モード	12
検索手順	12
フォルダー名検索	13
プレイリスト再生モード	13
テキストサーチ	14

基本操作

操作のしかた	15、16
ネクストトラック機能 (CD/USB)	17
スクラッチ再生	17
シームレスループ / ホットスタート / スタッター	18
シームレスループ再生 / ホットスタート再生 /	
スタッター再生	18
A/B トリム	19
オート BPM カウンター	19
エフェクター	20
ECHO/LOOP のパラメーター設定	20
FLANGER のパラメーター設定	20
FILTER のパラメーター設定	21
プッラーエフェクト	21
BRAKE 動作時間の設定	21
ブレーキを動作させる	21
DUMP 再生	22
REVERSE 再生	22

メモ機能 (カスタムセッティングメモリー)

メモ機能について	23
メモ設定をおこなうには	23、24
文字入力について	24
キーボードを使った文字入力のしかた	24

ユーティリティ

ユーティリティモード	25
DB Create	25
DB Create モード	25
データベース作成	25
テンポラリーデータベース作成	25
プリセットデータモード	26
プリセットデータモード	26
Preset Import (プリセット読み込み)	26
Preset Export (プリセットデータ転送)	26
メモデータ	26
メモデータモード	26
Memo Import (メモデータ読み込み)	26
Memo Export (メモデータ転送)	27
Initialize	27
Initialize モード	27
USB Format (外部 USB デバイスフォーマット)	27
S1200 Init. (工場出荷状態に戻す)	27
プリセット	28
プリセットするには	28
プリセットできる項目およびデータ	28、29
互換性のファイル	29

保証とサービスについて

主な仕様	30、31
------	-------

付属品について

本体とは別に下記の付属品が入っています。ご使用前にご確認ください。

① 取扱説明書 (本書)	1
② CD-ROM	1
③ ピンプラグケーブル (RCA)	1
④ 製品のご相談と修理・サービス窓口一覧表	1
⑤ 保証書	1

取り扱い上のご注意

換気についてのご注意

本機をたばこなどの煙が充満している場所に長時間置くと、光学式ピックアップの表面が汚れ、正しい信号の読み取りができなくなることがあります。

ディスクについて

本機では、右のマークが入ったディスクをご使用ください。但し、ハート型や八角形など特殊形状のディスクは再生できません。機器の故障の原因になりますので、ご使用にならないでください。

COMPACT
disc
DIGITAL AUDIO



ディスクの持ちかた

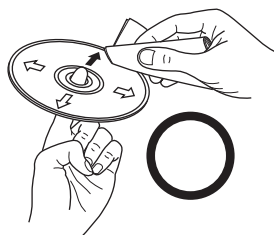
ディスクを装着したり取り出すときは、できるだけ表面を触らないようにしてください。

信号記録面（虹色に光っている面）には、指紋などを付けないようにしてください。

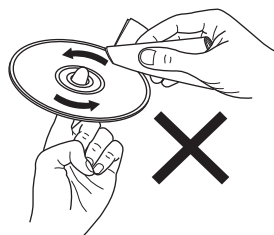


ディスクのお手入れのしかた

- ディスクに指紋や汚れが付いたときは、汚れを拭き取ってから使用してください。ディスクの信号には影響しませんが、音質が低下したり音が途切れることがあります。
- 拭き取るときは、市販のディスククリーニングセットまたは柔らかい布などをご使用ください。



内周から外周方向へ軽く拭く。



円周に沿っては拭かない。

ご注意

レコードスプレー・帯電防止剤などは使用できません。ベンジン・シンナーなどの揮発性の薬品も使用しないでください。



取り扱いについてのご注意

- 指紋、油、ゴミなどを付けないでください。
- 表面に傷を付けないよう、特にケースからの出し入れには注意してください。
- 曲げたりしないでください。
- 熱を加えないでください。
- 中心の穴を大きくしないでください。
- レーベル面（印刷面）にボールペンや鉛筆などで文字を書かないでください。
- 屋外などの寒い場所から急に暖かい場所へ移すと表面に水滴が付くことがあります。ヘアードライヤーなどで乾かさないでください。

保存についてのご注意

- 再生後は必ずディスクを取り出してください。
- ほこり、傷、変形などを避けるため、必ずケースに入れてください。
- 次のような場所には置かないでください。
 1. 直射日光が長時間当たるところ
 2. 湿気、ほこりが多いところ
 3. 暖房器具などの熱が当たるところ

ディスクを装着する際のご注意

- ディスクは1枚だけローディングしてください。2枚以上重ねてローディングしますと故障の原因になり、ディスクを傷付けることにもなります。
- ディスクが引き込まれるときに、指を挟まないように注意してください。
- ディスク以外のものをディスクローディングスロットに入れないでください。
- ひび割れ、変形または接着剤などで補修したディスクは使用しないでください。
- ディスクにセロハンテープやレンタルCDのラベルなどの糊がはみ出したり、剥がした痕があるものは使用しないでください。そのまま使用しますと、ディスクが取り出せなくなったり、故障の原因になることがあります。
- レーベル面（印刷面）にボールペンや鉛筆などで文字を書かないでください。
- ディスクのラベル面が汚れている場合は、汚れを拭き取ってから使用ください。ディスクのローディング/イジェクト用のローラーに汚れが付着すると、ディスクのローディングおよびイジェクトが正常におこなえなくなることがあります。

ご注意

機器内部にレーザー光放射装置があります。

また、感電防止のためのねじや蓋を外さないでください。万一故障の場合には、最寄りのサービスセンター/営業所、または、お買い上げ販売店にご依頼ください。

主な特徴

1. 外部 USB デバイスのサポート

DN-S1200 は、外付け USB デバイス（マストレージクラス）に対応しています。

USB HUB 経由での接続には対応していません。

iPod、USB フラッシュメモリや大容量の USB ハードディスクドライブを接続すると、これらに保存されている MP3/WAV のファイルを利用できます。

これらのデバイスを DN-S1200 に接続することにより本機に搭載されている機能（例えばインスタントスタート、シームレスループ、スクラッチ、ファイルサーチやその他の機能）が利用できます。

※ iPod はマストレージクラスに対応している iPod のみのサポートになります。

2. MIDI インターフェイス&コントローラ

DN-S1200 はメディアプレーヤーであると同時に、MIDI 対応の DJ ソフトウェアのオーディオインターフェースやコントローラとして機能します。好みの DJ ソフトウェアをコントロールする機能と、ハードディスクドライブに保存されている何千、何万という楽曲ファイルを再生する機能により、完全なバックアップシステムを実現できます。

※対応 OS : MacOSX10.4 またはそれ以上、Windows XP SP2、Vista

3. USB オーディオインターフェイス

現在、市場のほとんどの DJ 向け MIDI コントローラはサウンドカードを内蔵していません。DN-S1200 は自身に USB オーディオインターフェース（サウンドボード）を内蔵しています。これによりサウンドボードの選択の煩わしさや追加の出費がありません。内蔵されたシリーズ電源により最適な電気特性が与えられ、優れたオーディオ特性を実現しています。また、より忠実な音声再生のため、バーブラウン社（製造は TI 社）の 24bit DAC を搭載しています。

USB オーディオのインターフェースはステレオアウトプットを持ち、44.1kHz のサンプリングレートで低レイテンシの ASIO/OSX CORE AUDIO をサポートしています。

※同梱のインストールディスクに含まれています。

4. マルチファンクションタッチセンサースクラッチディスク

120mm のスクラッチディスクは、細かく素早いスクラッチを正確に再現するために、高解像度パルスとタッチセンサーでつくられています。

スクラッチディスクは、他の不可欠な機能（例えばピッチベンド、ファイル検索とエフェクター操作）も実行することができます。

5. 4 種類の DSP エフェクト

ダンスフロアやライブのムードを作り上げることは、内蔵エフェクトを使用することで簡単にできます。Dry/Wet やパラメータが調整が可能です。

内蔵エフェクトは以下のとおりです。

フランジャー、フィルター（High-Mid-Low）、エコー、エコーループ

6. 3 種類のブラッターエフェクト

- ・プレーキ（リアルタイムに調整可能）
- ・ダンプ（リバース再生の応用。リバースした時間分進んでから通常再生に戻る）
- ・リバース（音楽を逆転再生する。）

7. ホットスタートとシームレスループ

2 つのホットスタート（**A1** ボタンと **A2** ボタン）は簡単に設定でき、すぐにシームレスループに入ることができます。ホットスタートはスタッターポイントとしても使用することができます。

8. Loop A/B Trim

シームレスループをするための A または B 点を簡単に調整することができます。

9. クロスフェード付きネクストトラック機能

再生を止めずに、次の楽曲を様々な方法で検索でき、ユーザが検索した曲へシームレスにクロスフェードします。

※クロスフェード時間はユーザが調整します。

10. クイックジャンプ / ビートジャンプ

素早く簡単にサーチができます。トラックやファイルの中でクイックジャンプ機能を使用すると、ユーザが設定した時間、例えば 10 秒間隔で移動できます。

11. 2 種類のピッチベンド

JOG MODE ボタンを BEND/Search にしてスクラッチディスクを回転させるか、**PITCH BEND** + / - ボタンを押しても実行できます。

12. 4 種類の BPM カウンター

- ・オートビートカウンター
- ・マニュアル TAP 入力
- ・マニュアル BPM 入力
- ・MP3/WAV BPM メタデータ（ID3 tag にデータベンドフェーダーがあった場合）

13. メモ機能

キューポイント、BPM、ピッチのセッティングとレンジ、ピッチのオン / オフ、キーアジャストのオン / オフやシームレスループの A と B の各データを後で呼び出し可能なようにファイルへ直接記録します。

14. キーアジャスト

キーアジャスト機能は、再生スピードを調整しても、本来のボーカルや楽器の音のキーを維持します。

15. PS/2 キーボード対応 & 直観的なファイルナビゲーションシステム

Qwerty、Qwertz、Azerty の 3 タイプのキーボードレイアウトをサポートします。9 カ国のキーボードに対応しています。アーティスト、アルバム、タイトル、ジャンル、年、bpm とファイル名を検索することができます。

また、いくつかのキーはいろいろな機能を実行するよう割り当てられます。D-Link 接続をすることにより、1 つのキーボードで 2- デッキ構成で共有することができます。

16. パイプラインチューブディスプレイ、2 行文字テキストサポート付き

DN-S1200 は情報量豊富で動きのあるチューブディスプレイです。このディスプレイは 2 行の文字情報を表示して、CD テキストや USB のファイルをすばやくナビゲートして、正確な情報を提供します。

32 分割のマーカーポイントインジケータは、あなたの手動きを光速で、正確に再現します。その他のインジケータには、LOOP 動作、ホットスタート、BPM info、ELAPSED/REMAINTime、MP3/WAV ファイルタイプ、その他の有用なインジケータがあります。

17. 2 種類の CUE 方式

従来のデノンの CUE 方式に加え、他の一般的な CUE 方式もサポートしています。

18. パワーオンプレイ

設定がオンになっていれば、電源投入後に再生を開始します。

19. リレープレイ

設定がオンになっていれば、D-Link で接続されている機器間で交互に再生をおこないます。

20. フェーダースタート

フェーダースタート出力を備えたミキサーと接続して、フェーダースタート再生をおこなうことができます。

21. デジタル出力

デジタル出力はモードや再生スピードなどで制限されることなく常時 44.1kHz で出力されます。

22. ソフトウェアは USB でアップグレード可能

DENON DJ は、ユーザからの貴重なフィードバックに基づき、随時、現在の機能に細かな改良を施したり、新たな機能を追加しています。これらの新たなプラグインはいつも無料で以下のウェブサイトから入手が可能です。

www.denondj.com

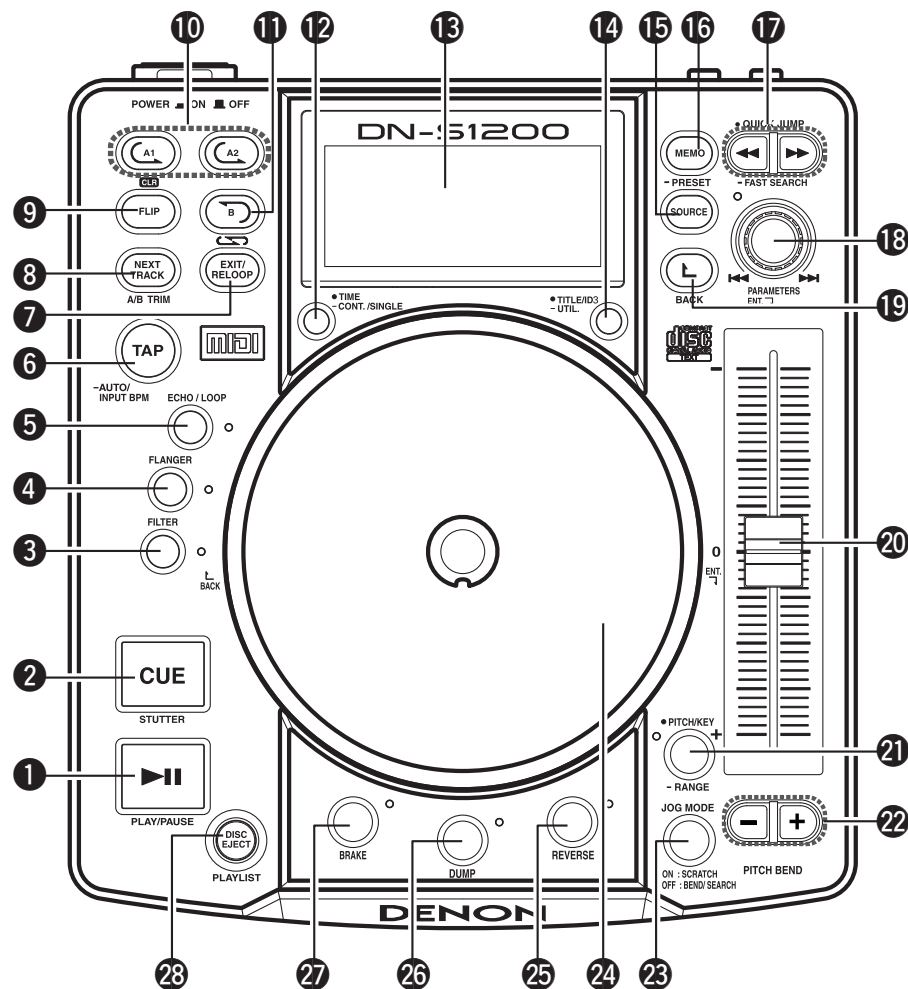
各部の名前とはたらき

各部のはたらきなど詳しい説明については、() 内のページを参照してください。

トップパネル



DN-S1200 では、短く押す場合と長く押す場合(1 秒以上)で 2 通りの違った働きをするボタンがあります。“.” マークは短く押すボタンの機能名、“-” マークは長く押す場合のボタンの機能名が記載されています。



1 PLAY/PAUSE ボタン (▶||)

- ボタンを押すと再生、ポーズを選択します。
- スタンバイ、ポーズ中にボタンを押すと再生を開始し、再生中にボタンを押すとポーズします。

2 CUE/STUTTER ボタン

・ CUE (バックキュー) :

再生中またはポーズ中にこのボタンを押すと再生を開始した位置 (CUE ポイント) に戻りスタンバイします。この機能をバックキューと呼びます。

・ スタッター :

スタンバイ中にこのボタンを押すと、ボタンを押している間、CUE ポイントからの再生をおこないます。

3 FILTER ボタン

ボタンを押すとフィルターがオンになり、フィルターのパラメータ設定画面が表示されます。

4 FLANGER ボタン

ボタンを押すとフランジャーがオンになり、フランジャーのパラメータ設定画面が表示されます。

5 ECHO/LOOP ボタン

ボタンを押すとエコーがオンになり、エコー/ループのパラメータ設定画面が表示されます。フィードバックレベルを“MAX”に設定すると ECHO LOOP が設定されます。

6 TAP(LOCK) ボタン、-AUTO/INPUT BPM ボタン

・ TAP :

曲のビートに合わせ、このボタンを繰り返し押します。ボタン入力の間隔を測定し BPM として表示します。

・ BPM LOCK :

オート BPM カウンターをオフしたときの BPM を保持します。オート BPM カウンターがオンのとき、このボタンを短く 1 回押すと、BPM がロックされます。

・ AUTO :

再生中のトラックの BPM を自動計測して表示します。オート BPM カウンターがオフのとき、このボタンを 1 秒以上押し続けると、オート BPM カウンターがオンになります。

・ MANUAL INPUT :

ボタンを 2 秒以上押し続けると、PARAMETERS ノブで BPM を直接数値で入力することが可能な BPM データ入力モードになり、オート BPM モードがオフします。再度ボタンを押すと BPM データ入力モードがオフし、入力した BPM が保持されます。

ご注意

- 新しく曲を選択すると自動的にオート BPM モードがオンします。
- BPM のデータはメモ機能により保持することが可能です。

7 EXIT/RELOOP ボタン

シームレスループ再生中にボタンを押すと、ループを一時的にオフし通常再生に戻るイグジット機能と、イグジットからループ再生に戻るリループ機能を選択します。

8 NEXT TRACK ボタン、A/B TRIM ボタン

再生中にボタンを押すとネクストトラックモードが選択されます。

シームレスループ動作中に押した場合は、シームレスループの A または B ポイント調整モードが選択され、さらにボタンを押すと、ネクストトラックモードになります。

9 FLIP/CLR ボタン

・ FLIP :

A1 ボタンまたは **A2** ボタンの動作モードをホットスタートスタッターから選択します。ホットスタッターを選択すると、“C” が点灯し、スタッターを選択すると、“C” が消灯します。

・ A1、A2 CLR :

このボタンを押しながら **A1** ボタンまたは **A2** ボタンを押すと選択した A ポイントおよび B ポイントを消去します。

このボタンを 1 秒以上押し続けると、すべての A、B ポイントを消去します。

10 A1、A2 ボタン

ホットスタート、シームレスループ、スタッター再生で使用します。

11 B ボタン

A1 ボタンまたは **A2** ボタンの内、最後に押した A ボタンのシームレス終了点、B ポイントを設定します。

- 12・TIME ボタン、-CONT./SINGLE ボタン
- ・TIME :
ボタンを押すごとに ELAPSED (経過時間)、REMAIN (残量時間)、T.ELAPSED (トータル経過時間)、T.REMAIN (トータル残量時間)の時間表示を切り替えます。

ご注意

USB モードのファイルサーチ時、トータル経過時間およびトータル残量時間に切り替えることはできません。

- ・CONT./SINGLE :
ボタンを 1 秒以上押すごとに、シングル再生 (PLAY LOCK)、シングル再生 (LOCK OFF) または連続再生表示に切り替わります。
- ・CONT. (連続再生モード) :
再生を開始すると、最終ファイルのエンドまで再生します。
- ・SINGLE (シングル再生モード) :
再生を開始すると、再生を開始したファイルのエンドまで再生をします。
- ・SINGLE PLAY LOCK (シングル再生 & プレイロック) :
シングル再生 & プレイロックはプリセット設定で選択可能です。シングル再生 & プレイロックを選択すると、再生モードになります。このモードでは、再生中にファイルの選択ができませんので、誤ってファイル選択をしたり、再生を停止させることを防止できます。

13 ディスプレイ

- 14・TITLE/ID3 ボタン、-UTILITY ボタン
- ・TITLE :
CD モード……CD テキストデータがあるときボタンを押すと、押すごとに Artist、Album、Title、表示を切り替える前の表示に切り替わります。
 - USB モード……USB モードのときボタンを押すごとに Artist、Album、Title、Genre、Year、表示を切り替える前の表示に切り替わります。
 - ・UTILITY :
ボタンを 1 秒以上押し続けるとユーティリティーモードになります。ユーティリティーモード中にボタンを押すとユーティリティーモードをオフにします。

- 15 SOURCE ボタン
- ボタンを押すとソース選択画面が表示されます。

- 16 MEMO、-PRESET ボタン
- ・MEMO :
Cue ポイント、ホットスタート、ループ再生、BPM、ピッチやキーアジャストなどの様々な設定を保存し、それら呼び出すことができます。
 - ・PRESET :
ポーズ、スタンバイ、ノーディスク状態でボタンを 1 秒以上押すとプリセット設定画面が表示され、**PARAMETERS** ノブでプリセットの項目選択、データ設定が可能になります。

- 17 QUICK JUMP ボタン、-FAST SEARCH ボタン (◀◀) (▶▶)
- ・QUICK JUMP :
(◀◀) ボタンを短く押すと、ボタンを押している間、再生位置が指定時間手前にジャンプします。
 - (▶▶) ボタンを短く押すと、ボタンを押している間、再生位置が指定時間先にジャンプします。
 - ・FAST SEARCH :
(◀◀) ボタンを押し続けると、通常再生方向とは逆方向に早送り再生をおこないます。
 - (▶▶) ボタンを押し続けると、通常再生方向に早送り再生をおこないます。

- 18 PARAMETERS ノブ
- ・PARAMETERS :
プッターエフェクト、メモ、プリセットなどのパラメータやデータ選択をおこないます。
 - ・FILE SEARCH :
PARAMETERS ノブを押しながら回すと、アルファベット検索モードになります。
 - ・TRACK SEARCH、Playlist の FILE SEARCH :
PARAMETERS ノブを回転させると 1トラックずつトラック (ファイル) を選択できます。
 - PARAMETERS** ノブを押しながら回転させると 10トラック飛びでトラック (ファイル) を選択できます。

- 19 BACK ボタン
- ボタンを短く押すとひとつ前の階層表示に戻ります。1 秒以上押し続けると最上位階層に戻ります。

- 20 ピッチ スライダー
- このスライダーで再生スピードを調整します。スライダーを上方向に動かすと再生スピードが遅くなり、下方向に動かすと再生スピードが速くなります。

- 21 PITCH/KEY ボタン、-RANGE ボタン
- ・PITCH/KEY :
ボタンを短く押すと、押すたびにピッチオン、キーアジャストオン、ピッチオフが切り替わります。
 - ピッチオンまたはキーアジャストオンすると LED が点灯します。
 - ・RANGE :
ボタンを 1 秒以上押し続けると、**PARAMETERS** ノブでピッチレンジの選択が可能になります。

- 22 PITCH BEND + / - ボタン
- これらのボタンを押すと、一時的に再生スピードを変えることができます。
 - PITCH BEND +** ボタンを押している間は、再生スピードを上げ、**PITCH BEND -** ボタンを押している間は、再生スピードを下げます。
 - ボタンから手を離すと元の再生スピードに戻ります。

- 23 JOG MODE ボタン
- ボタンを押すと、スクラッチディスクの動作モードが選択されます。
- ・SCRATCH :
スクラッチ再生時は、このボタンはオレンジ色に点灯します。
 - ・BEND/SEARCH :
バンド / サーチモードを選択すると、ボタンが消灯します。スタンバイまたはポーズ中にスクラッチディスクを回すと、マニュアルサーチとして動作します。
 - マニュアルサーチはフレーム単位 (1/75 秒) でサーチすることができます。再生中にスクラッチディスクを回すとピッチベンドとして動作します。

- 24 スクラッチディスク
- スクラッチ再生、マニュアルサーチ、ピッチベンド、エフェクターのパラメーターを選択できます。ファイルサーチ時はファイルの選択ができます。

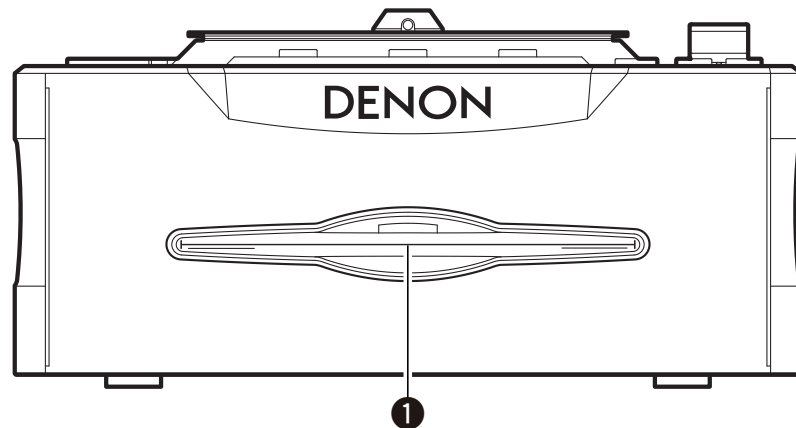
- 25 REVERSE ボタン
- ボタンを押すとリバース再生が開始されます。

- 26 DUMP ボタン
- ボタンを押すと DUMP のプッターエフェクトが選択されます。

- 27 BRAKE ボタン
- ボタンを押すとブレーキモードとパラメータ設定が選択されます。

- 28 PLAYLIST、DISC EJECT ボタン
- ・PLAYLIST :
USB 再生でボタンを押すごとにファイルサーチとプレイリストサーチが切り替わります。また、再生中以外のときは、ボタンを押すごとにサーチモードとプレイリストサーチモードを切り替えます。
 - ・DISC EJECT :
ボタンを押すと、ディスクがイジェクトされます。CD 再生中は、イジェクトロックされます。
 - USB 再生の場合は、**DISC EJECT** ボタンを 1 秒以上押すと、イジェクトされます。

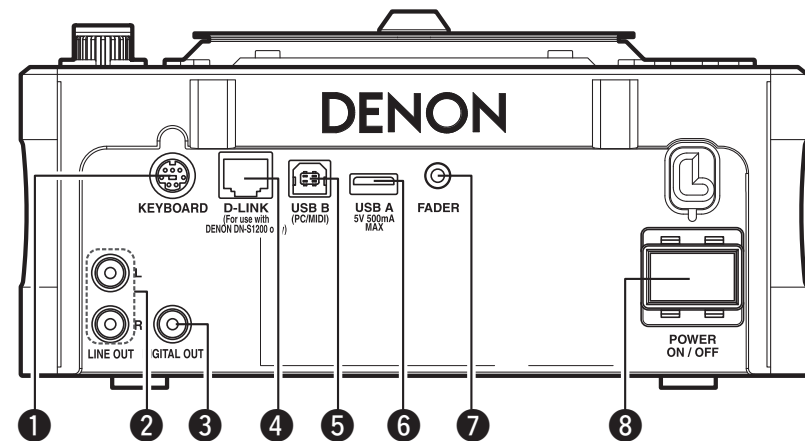
フロントパネル



① ディスクローディングスロット

CDを挿入します。スロット部にディスクをゆっくり入れてディスクから手を離してください。

リアパネル



① PS/2 端子

PS/2 キーボードと接続するための端子です。

② アナログ出力端子 (LINE OUT)

- アンバランスタイプの RCA 出力端子です。
- 音声信号が出力されます。

③ デジタル出力端子 (DIGITAL OUT)

- デジタルデータが出力されます。
- 接続には 75 Ω のピンケーブルを使用ください。
- シールドされたより線タイプのケーブルをお勧めします。

ご注意

デジタル出力をアナログに変換した後の再生レベルは、エフェクター使用時の再生レベル変化による再生出力のクリップを防止するため、通常再生レベルの -6dB となります。

④ D-Link 端子

DN-S1200 をもう 1 台接続するための端子です。

もう 1 台の DN-S1200 との間で MEMO データ、Keyboard データ、Relay コマンド情報の送受信を行います。

※ケーブルの先には、DN-S1200 以外は接続しないでください。

※ケーブルは 3m までの RJ45 クロスケーブルを推奨します。

⑤ USB B 端子

- DN-S1200 からパソコンに USB MIDI、HID コマンドを送信します。
- パソコンから USB MIDI、HID コマンドおよび USB AUDIO を受信します。

⑥ USB A 端子

USB メモリや USB HDD 等のマストレージデバイスを 1 台のみ接続可能です。

※USB HUB 非対応

⑦ フェーダー端子

- ミキサーと接続し、ミキサーから再生、ポーズ、Cue 等の各種 Fader コマンドを受信します。
- 3.5mm ステレオミニプラグのケーブルを使用してください。

⑧ POWER ボタン

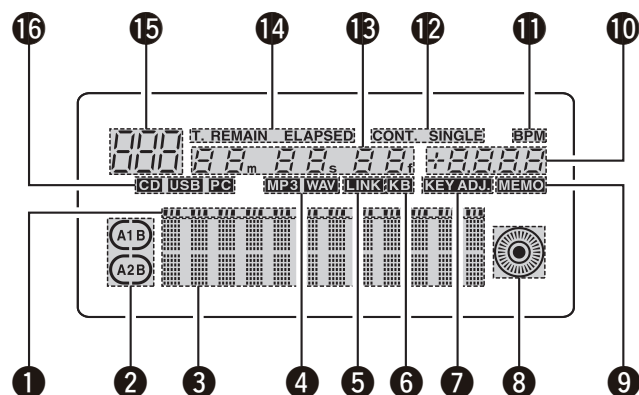
電源を ON/OFF します。

ご注意

ディスクローディング中およびイジェクト中は、電源を切らないでください。

CD メカニズムにダメージを与え、故障の原因になります。

ディスプレイ



① 再生位置表示

通常再生の時は白、リバース再生のときはオレンジ色の位置表示が点灯し、曲の位置を経過時間で表示します。

曲の終了位置までの時間が指定時間以下になると、曲の残り時間（EOM）に合わせ再生位置表示が点滅し曲の終了を知らせます。

(A1 B) または (A1 B) 左側の矢印が点灯：
ホットスタートモード

(A1 B) 両方の矢印が点灯：
シームレスループモード

(A1 B)、(A1 B) 両方の矢印が点滅：
シームレスループ再生中

(A1 B)、(A1 B) 右側の矢印のみが点滅：
シームレスループ一時中断中（イグジット中）

② Loop モード表示

DN-S1200 は、ループモード表示としての A と B の 2 個のループ表示があります。

A と B 表示は、A、B が設定されると表示されます。

2 個の矢印は以下のようなループモードを表示します。

③ キャラクター表示

DN-S1200 は、モードの選択などキャラクター表示に従い **PARAMETERS** ノブを用い操作できます。

PARAMETERS ノブが入力可能なときは、PARAMETERS LED が点滅します。



キャラクター表示には、動作、モード名、データなどを表示します。また、表示されるデータのサイドに “>>” が表示します。
点滅中はその行の項目が選択中であることを表示します。

④ ファイルデータ表示

ファイルのフォーマットを表示します。

⑤ D-Link 接続確認表示

D-Link の接続を確認できたときに点灯します。

⑥ キーボード表示

Keyboard が有効になっているときに点灯します。

⑦ KEY ADJUST 表示

キーアジャストモードのとき “KEY ADJ.” が点灯します。

⑧ スクラッチマーカー

再生位置を表示します。

⑨ MEMO 表示

MEMO データの有無を表示します。

再生中またはスタンバイ中のファイルまたはトラックにメモデータが記憶されているとき、“MEMO” が点灯します。

USB モードのプレイリストサーチモードでプレイリストにメモデータが記憶されているプレイリストを選択すると点滅します。

CD モードで D-Link 可能時、もう一台の DN-S1200 に接続されている USB メモリにデータが記憶されているとき “MEMO” が点滅します。

⑩ Pitch 表示

再生スピード（ピッチ）または BPM を表示します。

⑪ BPM 表示

Pitch 表示部に BPM が表示されるときに点灯します。

⑫ 再生モード表示

シングル再生モードおよびシングル再生 & プレイロックモードのとき “SINGLE” 表示が点灯します。連続再生モードのとき “CONT.” 表示が点灯します。

⑬ 分、秒、フレーム表示

ファイルまたはトラックの経過時間、残り時間等を表示します。

⑭ 時間モード表示

TIME ボタンが押されたときに以下のように切り替わります。

ELAPSED: トラックまたはファイルの経過時間が表示されます。

REMAIN: トラックまたはファイルの残量時間が表示されます。

T.ELAPSED: USB モードのプレイリスト再生時または CD モード時、プレイリストまたは CD に含まれる先頭ファイルからの再生時間を表示します。

T.REMAIN: USB モードのプレイリスト再生時または CD モード時、プレイリストまたは CD に含まれる全ファイルの残量時間を表示します。

⑮ トラック表示

プレイリストモード再生時、CD モード再生時に現在再生されている Track 番号を表示します。

⑯ SOURCE 表示

現在選択中のソースを表示する。

接続のしかた

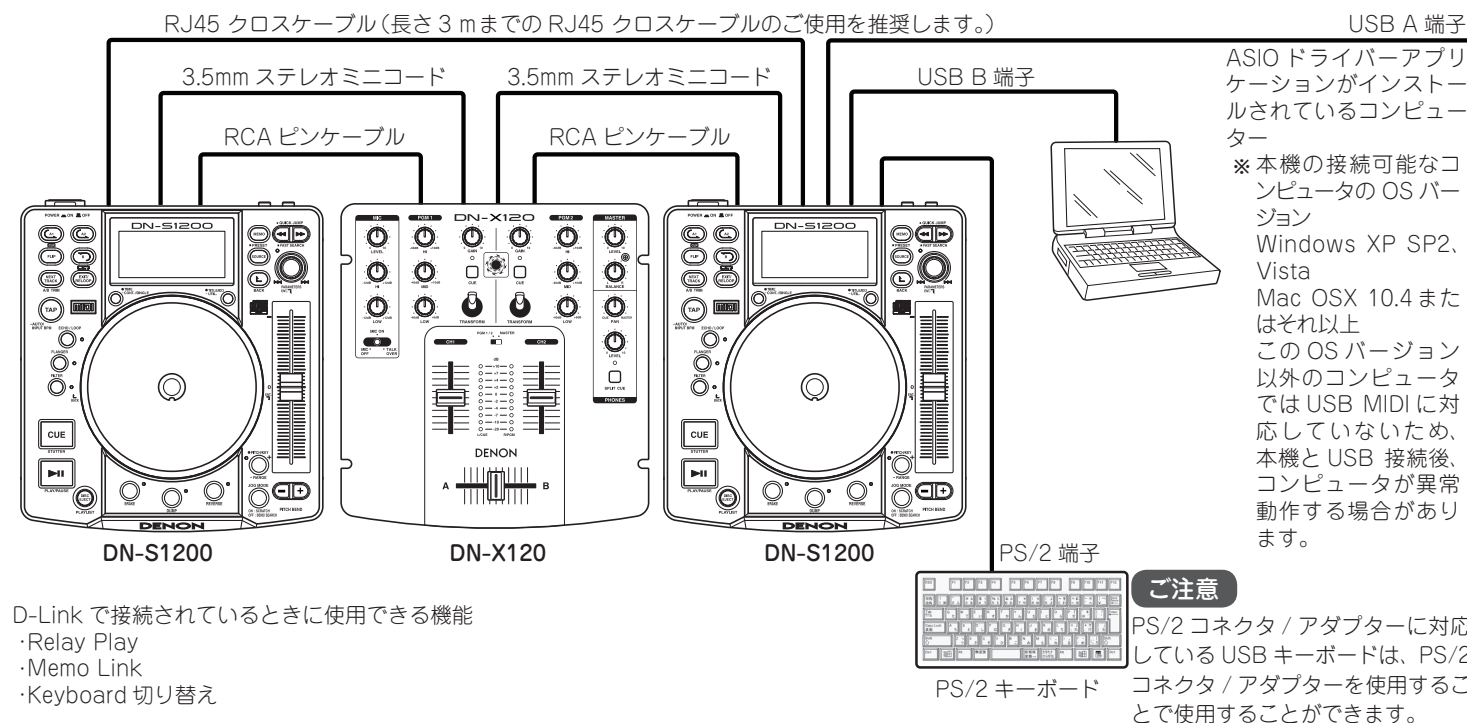
準備

1. 本機の電源を切ってください。
2. 本機の出端子に RCA ピンケーブルを接続し、他の方をミキサーの入端子に接続してください。
3. ミキサーにフェーダー出力端子がある場合は、DN-S1200 のフェーダー入力端子と 3.5mm ステレオミニコードで接続します。

DN-S1200 をフェーダーコントロールすることができます。

ご注意

- コントロールケーブルを接続するときは、必ず電源を切ってください。電源を入れたまま接続すると、本機が正しく動作しないことがあります。
- USB マスストレージデバイスは、演奏する機器に接続してください。
- MIDI モードで DJ ソフトを操作する場合は、それぞれ使用する機器を、直接コンピュータに接続してください。



接続されているデバイスについて

1. PS/2 キーボード

- ① Qwerty, Qwertz, Azerty タイプのキーボードレイアウトだけをサポートします。
- ② DN-S1200 はキーボードから操作できます。下の表をご覧ください。

	キーボード	DN-S1200 フロントパネル
1	↑	PARAMETERS ノブ (スクロールアップ)
2	↓	PARAMETERS ノブ (スクロールダウン)
3	ENTER	PARAMETERS ノブを押す
4	ESC	BACK ボタン
5	Shift+TAB	D-Link で接続され、keyboard 操作ができる機器に切り替えます。
6	INSERT	SOURCE ボタン
7	Windows	PLAYLIST ボタン
8	ALT	NEXT TRACK ボタン
9	F1	TIME ボタン
10	F2	TITLE ボタン
11	F3	TIME ボタン (長押し動作)
12	F12	ファイル検索のステップ数を切り替えます。

ご注意

上記に記載された以外のキー (文字) は、文字を入力するときに用いられます。使用可能な文字のリストは “文字入力について” をご覧ください (P.24 ページ)。

2. USB マスストレージデバイス

- ① バス電源だけを使用すると、USB デバイスの動作が不安定になることがあります。
- ② USB デバイスが認識されない場合は、いったん外して接続しなおすと認識されることがあります。
- ③ デバイスからホスト装置に USB 規格に適合しない方法で電力が供給されるような場合は、ホスト装置に損傷を与えるかねません。そのようなデバイスは使用しないでください。

- ④ DN-S1200 によって選択、操作されているときや、データベースの作成が行われているとき、USB デバイスの接続を切らないでください。デバイスにアクセスされている間に接続を切ると、ファイルなどに損傷を与える恐れがあります。
 - ⑤ 大容量 USB デバイスや特にデータ記憶用に設計されていない USB デバイス (主に MP3 プレーヤー) の場合は、DN-S1200 に接続された後、認識されるまでに多少時間がかかることがあります。
 - ⑥ USB コンプライアンステストに合致または適合している USB デバイスを使用してください。
 - ⑦ USB HUB には対応していません。
 - ⑧ DN-S1200 は、FAT16 と FAT32 に対応しています。
- ### 3. iPod

- ① 使用できるのは Windows フォーマットの iPod だけです。Macintosh フォーマットの iPod は使用できません。
- ② iTunes から iPod に転送された MP3/WAV ファイルは、読み取り専用ファイルです。これらのファイルでは MEMO 機能は使用できません。
- ③ iTunes では、“Summary” - “Optiones” の Manually manege music にチェックマークを付けてください。
- ④ iTunes から iPod に転送された MP3/WAV ファイルは、iPod 専用のファイル名で管理されますので、ファイル名では検索することができません。ID3 タグ (アーティスト、アルバム、タイトル、ジャンル、年、BPM など) を用いて検索するようお勧めします。

※ iPod および iTunes は Apple Computer, Inc の商標または登録商標です。

4. その他

- ① DN-S1200 では、ソフトウェアは USB デバイスを用いてアップデートできますが、デバイスが認識されるには多少時間が必要な場合がありますので、ご注意ください。
- ② USB 規格に適合するケーブル以外は使用しないでください。改造 USB ケーブルを使うと、DN-S1200 に損傷を与える恐れがあります。
- ③ デバイスのフォルダに多数のファイルが格納されていると検索に多少時間がかかり、動作が不安定になることがあります。各フォルダーのファイル数は 1,000 未満にとめてください。

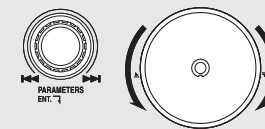
デバイスを切り替える

再生できるデバイスを切り替えることができます。電源起動時は CD が選択された状態から開始します。操作手順は、以下の通りです。

- ### 1 SOURCE ボタン押す。
- “SOURCE” 選択画面を表示します。



- ### 2 PARAMETERS ノブまたはスクラッチディスクを回し、デバイスを選択する。



- ### 3 PARAMETERS ノブを押し、決定する。



※ 選択されたデバイスの準備が終わると操作ができるようになります。

“CD” を選択した場合：

CD 再生ができるようになります。

“USB” を選択した場合：

USB 再生ができるようになります。

“PC” を選択した場合：

USB MIDI コントロールモードを開始します。

USB MIDI コントロールモードについて

複数の DN-S1200 を機器に接続する場合は、“プリセット” - “(24) MIDI CH Set” (P.28 ページ) の設定を異なる数値に変更してください。

USB Audio

USB Audio オーディオインターフェイスは、1 系統のステレオ出力で 44.1 k Hz サンプリング周波数に対応しています。低レイテンシ ASIO/OSX Core. オーディオをサポートします。

再生のしかた

CD で再生する曲を選択する

DN-S1200 で CD を再生します。

CD-DA のディスクの再生ができます。

※CD-R 等に記録された MP3 ファイルは再生できません。

□ ディスクをセットする

- CD をディスクローディングスロットに挿入すると、CD の先頭トラックにスタンバイします。
スタンバイすると、**CUE** ボタンが点灯します。
- オートキュー機能により、音声の立ち上がり位置にスタンバイします。“プリセット” “(2) Auto Cue” (15 28 ページ) で設定を変えることができます。

□ 曲を選択する

- **PARAMETERS** ノブを回します。
- **PARAMETERS** ノブを押しながら回すと、10 トラック単位でトラック選択できます。

SINGLE PLAY LOCK:

再生中誤ってトラック選択をおこなったり、再生を停止させることを防止するために再生中トラック選択を禁止しています。

解除するには、**TIME -CONT./SINGLE** ボタンを長く押ししてください。

“トップパネル 12 **TIME -CONT./SINGLE** ボタン” を参照してください (15 5 ページ)。

USB で再生する曲を選択する

DN-S1200 で外部 USB デバイスの曲を再生します。

USB での再生モードには次に示す 2 つの再生モードがあります。

※USB メモリーデバイスに収録されている曲を再生するにはデータベースを作成してください。ユーティリティモードの DB Create が付属の “DENON DJ Music Manager” でデータベースを作成してください。

ファイル再生モード

MP3/WAV ファイルをアーティスト名、アルバム名、タイトル、ジャンル、Year、BPM などで検索し選択されたファイルを再生します。

プレイリスト再生モード

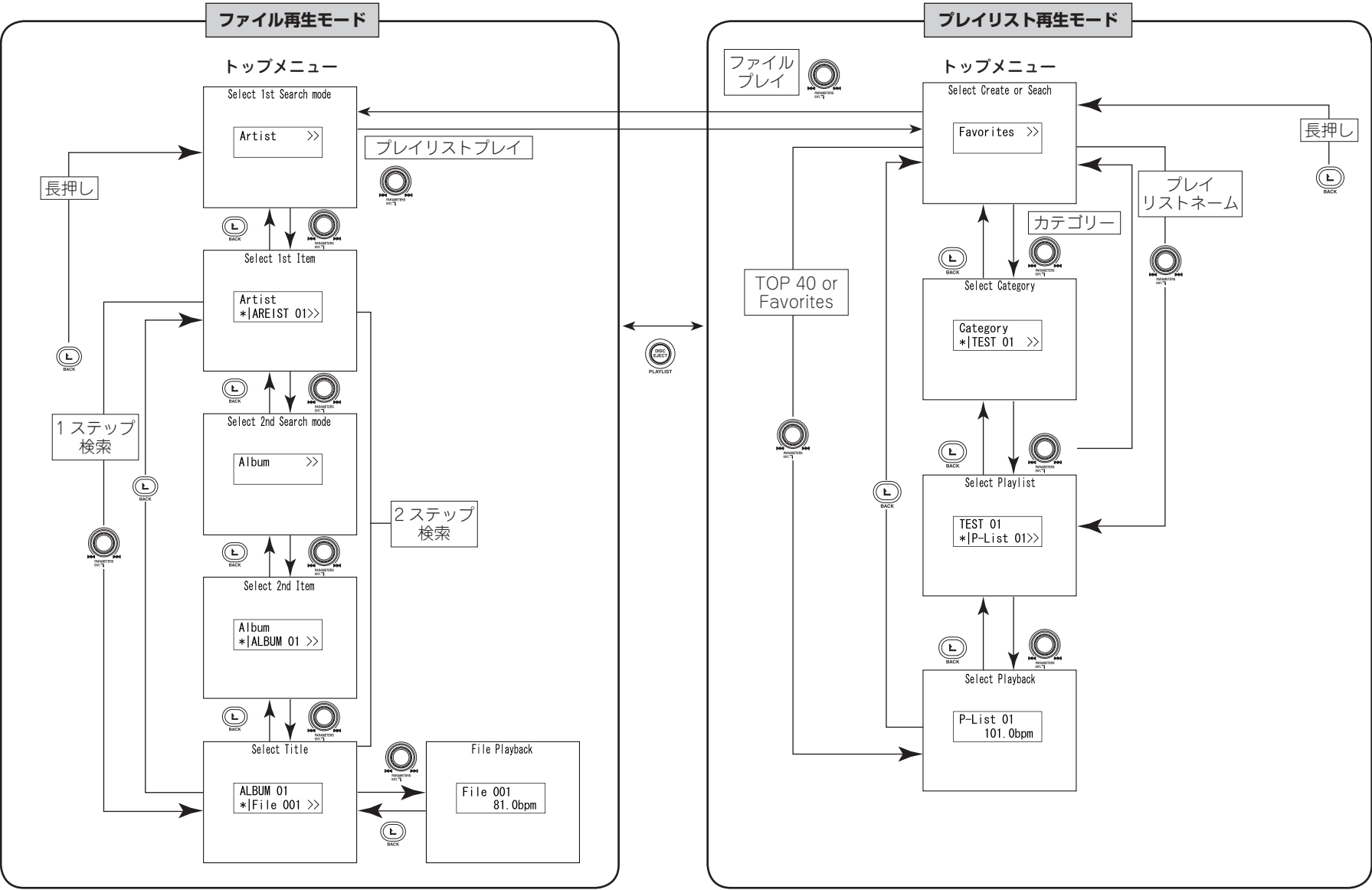
ユーザーが作成、編集したプレイリストを選択し、そのリストに登録されている MP3/WAV ファイルが再生されます。プレイリストを使うと、DN-S1200 は従来の CD と同じような間隔で操作できます。

ひとつのデバイスに対して 1,000 個のプレイリストが作成可能です。またそれぞれのプレイリストには最大 99 の MP3/WAV ファイルを登録することが可能です。

※プレイリストは同梱されている “DENON DJ MUSIC Manager” で作成してください。

再生モードは **PLAYLIST** ボタンを押すごとにファイル再生モードとプレイリスト再生モードに切り替わります。また再生モードはそれぞれのトップメニューから “P-List Play” または “File Play” を選択しても切り替えることができます。





ファイル再生モード

このモードではデバイスから MP3/WAV ファイルを検索し選択したファイルを再生します。

検索モードは 2 つあります。

- ① 1 つのファイル情報によりファイルを検索します。
- ② 2 つのファイル情報を組み合わせてファイルを検索する方法。この方法では、精度の高いファイル検索を行います。

検索モード

- ① 1 ステップサーチ ② 2 ステップサーチモード

モード (工場出荷時の設定)	1st サーチモード	2nd サーチモード
サーチモード	Artist	Album
		Title
		Year
		BPM
Artist	Album	-
	Title	-
Album	Genre	Artist
		Album
		Title
		Year
Title	Year	BPM
		Artist
Genre	Artist	Album
		Title
Year	Genre	Artist
		Album
BPM	Artist	Title
		Year
File Name	-	-
Folder	-	-

Album、Title、File Name、Folder Name サーチでは 2 ステップサーチモードはできません。2 ステップサーチは 1 ステップサーチと同じ方法でサーチを行います。

1 ステップサーチと 2 ステップサーチの選択は“プリセット” (15) “Search Step” (P.28 ページ) で選択できます。

また、キーボードが接続されているとき、トップメニューから F12 キーを押すことによりステップサーチを変更することができます。

検索手順

ファイル再生モードのトップメニューからのファイル検索手順は以下に示す通りです。

トップメニューを表示する

プレイリスト再生モードの場合：

ポーズ中またはスタンバイ中に **PLAYLIST** ボタンを押します。

ファイル再生モードの場合：

BACK ボタンを押すか、または 1 秒以上押し続けます。



1 ファイル再生モードのトップメニューで **PARAMETERS** ノブまたはスクラッチディスクを回し“サーチモード”を選択する。

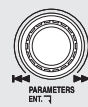


2 **PARAMETERS** ボタンを押すか、スクラッチディスクの右側を押して、決定する。

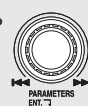
※“Artist” を選択した場合アーティスト名のリストが表示されます。



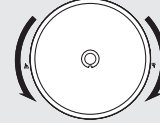
3 【操作 1 で“Artist” を選択した場合】**PARAMETERS** ノブまたはスクラッチディスクを回し、お好みのアーティスト名を選択する。



4 **PARAMETERS** ボタンを押し、決定する。



5 **PARAMETERS** ノブまたはスクラッチディスクを回し、再生したい曲を選択する。

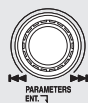


6 **PARAMETERS** ボタンを押し、決定する。操作 3 で選択した曲で、CUE スタンバイ状態になります。



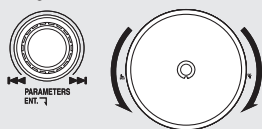
フォルダー名検索

- 1** ファイル再生モードのトップメニューで **PARAMETERS** ノブまたはスクラッチディスクを回し“Folder”を選択する。

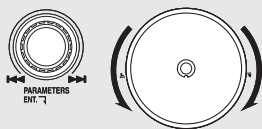


- 2** **PARAMETERS** ボタンを押すか、スクラッチディスクの右側を押して、決定する。

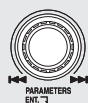
フォルダ名のリストを表示します。



- 3** **PARAMETERS** ノブまたはスクラッチディスクを回し、お好みのフォルダ名を選択する。

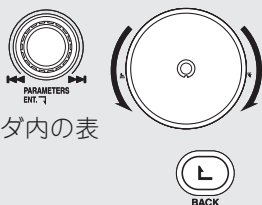


- 4** **PARAMETERS** ボタンを押し、決定する。
フォルダ内に存在する曲またはフォルダ名のリストを表示します。

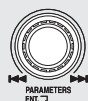


- 5** **PARAMETERS** ノブまたはスクラッチディスクを回し、再生したい曲を選択する。

※フォルダ名を選択した場合は、そのフォルダ内に存在するフォルダ名が表示されます。**BACK** ボタンを押すと1つ上のフォルダ内の表示に戻ります。



- 6** **PARAMETERS** ボタンを押し、決定する。
操作5で選択した曲で、CUEスタンバイ状態になります。



データベースに登録されている曲/フォルダのみフォルダ検索ができます。

プレイリスト再生モード

このモードではUSBデバイス上のプレイリストを検索し、選択してそのリストに登録されているMP3/WAVファイルを再生します。

プレイリスト毎にカテゴリー名を付けられ、それらを使って検索することもできます。

※プレイリストは、付属の“DENON DJ Music Manager”を使って作成してください。

プレイリスト検索

プレイリスト再生モードのトップメニューからのプレイリスト検索手順は以下に示す通りです。

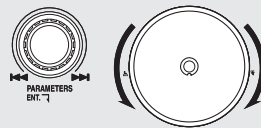
トップメニューを表示する

ファイル再生モードの場合：

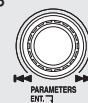
ポーズ中またはスタンバイ中に **PLAYLIST** ボタンを押します。



- 1** プレイリスト再生モードのトップメニューで **PARAMETERS** ノブまたはスクラッチディスクを回し“Playlist Name”または“Category”を選択する。

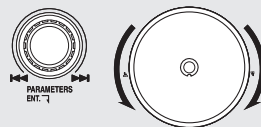


- 2** **PARAMETERS** ボタンを押し、決定する。
カテゴリー名またはプレイリスト名が表示します。

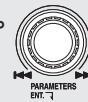


※“P-list Name”を選んだ場合は操作5へ
“Category”を選んだ場合は操作3へ

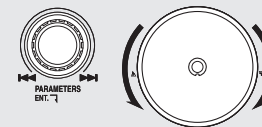
- 3** **PARAMETERS** ノブまたはスクラッチディスクを回し、カテゴリー名を選択する。



- 4** **PARAMETERS** ボタンを押し、決定する。



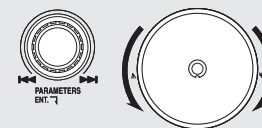
- 5** **PARAMETERS** ノブまたはスクラッチディスクを回し“プレイリスト”を選択する。



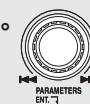
- 6** **PARAMETERS** ボタンを押し、決定する。
選択したプレイリスト内の曲のリストを表示します。



- 7** **PARAMETERS** ノブまたはスクラッチディスクを回し、再生したい曲を選択する。



- 8** **PARAMETERS** ボタンを押し、決定する。
操作7で選択した曲で、CUEスタンバイ状態になります。



“Top40”と“Favorite”について

これらのリストはプレイリスト再生モードのトップメニューからダイレクトに選ぶことができ、面倒な検索をおこなわずにお好みの曲を再生することができます。

編集は付属の“DENON DJ Music Manager”を使用してください。

“Top40”には最大40曲、“Category”には最大99曲登録できます。

テキストサーチ

USB 再生時、頭文字や文字列を使い、曲やアルバムを検索することができます（ただし、ファイルサーチモードやプレイリストサーチモード時）。

【例】

任意のアーティスト名を選ぶ場合、**PARAMETERS** ボタンを押しながら回すと特定の文字、数字または記号から始まるアーティスト名だけを表示します。（表示順は A、B、C…）

PARAMETERS ボタンを押しながら回して“E”を選択した場合には“E”で始まるアーティスト名だけを表示します。キーボードが接続されている場合は、キーボードから入力した文字、数字または記号から始まるアーティスト名だけを表示できます。（最大 8 文字入力可能）

PARAMETERS を使った操作方法

1 Artist、Album、Title、Playlist 名などの名前を選択する画面で **PARAMETERS** ボタンを押しながら回しキャラクターを選択する。

選択した文字で始まる名前だけに限定されたリストが表示されます。



*	すべてを表示
A ~ Z	“A” ~ “Z” の文字から始まる名前
#	数字で始まる名前

※キーボード入力部分に文字が入力されている場合でも **PARAMETERS** ボタンを押しながら回すと、選択された文字から始まるリストが表示されます。

※ファイルサーチモード時、Artist、Album、Title、Genre、File Name の場合か、プレイリストサーチモード時、Category、P-list Name のいずれかで **PARAMETERS** ボタンを押しながら回すとアルファベット選択モードになります。

2 通常の検索と同じように **PARAMETERS** ノブまたはスクラッチディスクを回し、リストから名前を選択する。



3 **PARAMETERS** ボタンを押し、決定する。



キーボードを使った操作方法

1 Artist、Album、Title、Playlist 名などの名前を選択する画面でキーボードを使い任意の文字、数字または記号を入力する。（最大 8 文字）

選択した文字列を含む名前だけに限定されたリストが表示されます。

※“文字入力について”（P.24 ページ）。

2 **PARAMETERS** ノブまたはスクラッチディスクを回し、リストから名前を選択する。



3 **PARAMETERS** ボタンを押し、決定する。



PARAMETERS ノブを使ったテキストサーチとキーボードを使ったテキストサーチの両方が使われた場合は最後に操作した方が優先されます。

基本操作

操作のしかた

再生とポーズ

- 1** ▶ || ボタンを押すと再生する。
再生中はボタン ▶ || が緑色に点灯します。



- 2** 再生中に ▶ || ボタンを押すとその位置でポーズする。
▶ || ボタンが点滅します。



※再度 ▶ || ボタンを押すとポーズした位置から再生を開始します。

- 3** 再生中、JOG MODE ボタンがスクラッチに設定しているとき、スクラッチディスクを手で押さえるとポーズする。



※スクラッチディスクから手を離すと再生します。

再生とキュー

- 再生中に CUE ボタンを押す。
再生を停止し、再生を開始した位置に（キューポイント）戻ります。
※この機能をバックキューと呼びます。



- バックキュー機能を使うと常に同じ位置から再生を開始することができます。
- バックキュー中はボタンが赤く点灯します。

キューポイントが設定されたり変更になるのは次の通りです。

- ・ポーズから再生を開始したとき
- ・新しいファイルを選択したとき
- ・マニュアルサーチでキューポイントを設定したとき

曲を選択する

PARAMETERS ノブまたはスクラッチディスクを回す。
※“CD で再生する曲を選択する”（P.10 ページ） / “USB で再生する曲を選択する”（P.10 ページ）を参照してください。

キューポイントを移動する

曲の途中から再生を開始したいときは、クイックジャンプ、ファストサーチ、マニュアルサーチ機能でキューポイントを移動させる。

- 1** **FAST SEARCH** ボタンで再生を開始したい位置を探す。

◀◀▶▶ ボタンを短く押すと再生位置が約 10 秒前、または約 10 秒後にジャンプします。

◀◀▶▶ ボタンを長押しすると、正方向または逆方向に早送り再生します。

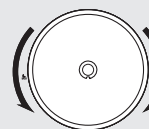


※クイックジャンプのジャンプ時間を“プリセット” - (6) “Jump Time”（P.28 ページ）で選択できます。

- 2** **JOG MODE** ボタンを押し“BEND/SEARCH”を選択する。



- 3** スタンバイ、ポーズ中にスクラッチディスクを回すと、再生音を聞きながら 1 フレーム単位でキューポイントを移動することができる。



- 4** **CUE** ボタンを押すと、新しいキューポイントが設定される。

再度 **JOG MODE** ボタンを押すとスクラッチディスクがスクラッチモードに戻ります。



再生スピードを（ピッチ）を調整する

ピッチスライダーで再生スピード（ピッチ）を調整することができます。

キーアジャスト機能により、再生スピード（ピッチ）に関わらず、音程を一定に保つことができます。

- 1** **PITCH/KEY** ボタンを短く押す。

押すたびにピッチオン、キーアジャストオンに切り替わります。



※ピッチオンに切り替えると、PITCH LED が点灯し、キーアジャストがオンすると“KEY ADJ.”表示が点灯します。

- 2** ピッチスライダーを動かし、再生スピードを調整する。

- 3** **RANGE** ボタンを 1 秒以上押し続ける。



- 4** **PARAMETERS** ノブを回し、ピッチレンジを選択する。

DN-S1200 は 4 %、10 %、16 %、24 %、50 %、100 % の 6 個のピッチレンジを持っています。



- 5** **PARAMETERS** ボタンを押すと確定する。



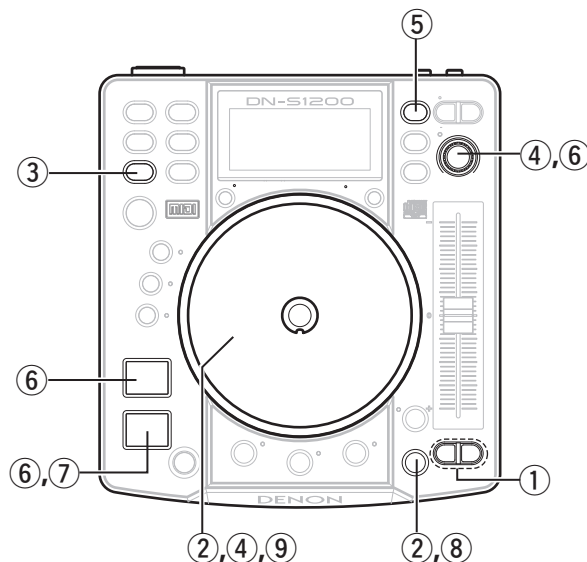
ご注意

MP3 ファイルで、ピッチが 24 % 以上の場合の再生はできません。

再生スピードを（ピッチ）を一時的に変化させる

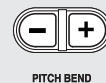
ピッチベンド機能で、一時的に再生スピードを変えることができます。

DN-S1200 は **PITCH BEND** ボタン、スクラッチディスクを用いた 2 種類のピッチベンド機能があります。



1 [PITCH BEND + / -]

- ① **PITCH BEND +** ボタンを押している間、再生スピードを上がり、**PITCH BEND -** ボタンを押している間は、再生スピードを下げる。



2 [PLATTER/SCRATCH]

- ② **JOG MODE** ボタンでスクラッチディスクのモードを **BEND/SEARCH** に設定しているときに、再生中にスクラッチディスクを回す。再生スピードが変化します。



リレー再生

2 台の DN-S1200 を D-Link で接続し、リレー再生をおこなうことができます。

“プリセット” - “(21) Relay” - “ON” (☞ 28 ページ) にするとリレー再生モードになります。

- 1 SINGLE 再生モードのとき、トラックの再生が終了すると次の曲でスタンバイし、もう一方の DN-S1200 に再生を開始させる。

- 2 CONTINUE 再生モードのとき、最終トラックの再生が終了すると、もう一方の DN-S1200 に再生を開始させる。

- 3 両方の DN-S1200 をリレー再生モードにすると、2 台の DN-S1200 を交互に再生する。

※ “プリセット” “(21) Relay” - “OFF” (☞ 28 ページ) にするとリレー再生モードを終了します。

パワーオン再生

“プリセット” - “(20) Power on Play” (☞ 28 ページ) を選択し、ディスクをセットした状態で電源を投入すると、先頭トラックから再生を開始する。

ご注意

ディスクがセットされていない場合は、“Power on Play” - “ON” でも電源を投入したときに再生は開始されません。

ネクストトラック機能 (CD/USB)

曲の再生中に中断することなく次の曲を選択できる機能です。

スムーズに次の曲に移行するためにクロスフェーダーを使うこともできます。

1 ネクストトラックモードをオンするには

- ③ 再生中 **NEXT TRACK** ボタンを押す。
このモードがオンすると **CUE** ボタンが点滅します。

※シームレスループ動作中は、一旦 A/B TRIM モードになります。

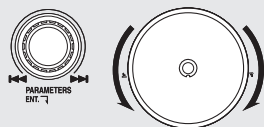
※ネクストトラックモードがオンのときにもう一度ボタンを押すと、ネクストトラックモードがオフします。

※同じデバイス上に存在するファイルのみネクストトラックモードで選択することができます。



2 曲を選ぶ。

- ④ **PARAMETERS** ノブまたはスクラッチディスクを回し、次に再生したい曲を選択する。



3 メモデータがある曲を選択する。

- ⑤ **MEMO** ボタンを押すとネクストトラックとして記憶されているメモデータのキューポイントが選択される。

※**PARAMETERS** ノブで他の曲を選ぶか **MEMO** ボタンをもう一度押すと記憶されているメモデータのキューポイントはキャンセルされます。



5 ファイルサーチスタート

- ⑥ ファイルを選択した後に **PARAMETERS** ノブまたは **CUE** ボタンを押すと再生した状態で選択した曲をサーチする。

サーチが終了しスタンバイになると **CUE** ボタンが点灯し **▶ ||** ボタンが点滅する。

※**CUE** ボタンが押された後の時間表示は、再生中の曲の再生可能な残り時間が表示されます。



6 ネクストトラック再生スタート

- ⑦ **▶ ||** ボタンを押すと再生を停止し次の曲の再生を開始する。

※次の曲を再生するときに、再生中の曲をフェードアウトさせることができます。

※フェードアウトの時間は20秒で、“プリセット” - “(4) NEXT Tr Cfade” (P.28 ページ) で設定できます。



- 7 次の曲が再生可能状態になったときに **▶ ||** ボタンが押されない場合、CONT. 再生モードは、現在再生中の曲が終わった後、次の曲の再生をはじめます。

SINGLE 再生モードも同じ動作をします。



ご注意

- 現在再生中の曲の再生可能な残り時間は次の曲をサーチしてから最大10秒です。
- 10秒の間に **▶ ||** ボタンを押すことができます。

スクラッチ再生

1 スクラッチモードを選択する。

- ⑧ **JOG MODE** ボタンを押し、スクラッチを選ぶ。

JOG MODE ボタンがオレンジ色に点灯 / 点滅します。



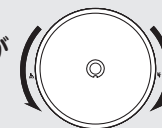
※**JOG MODE** ボタンが点灯しているときは、すぐにスクラッチ再生を開始することができます。

※**JOG MODE** ボタンが点滅 / 消灯しているときは、ディスクが無い、スクラッチディスクがパラメータ入力モードになっている、などの条件により、すぐにスクラッチ再生を開始することができません。

2 スクラッチ再生を開始する。

- ⑨ スクラッチディスクを押しながら回す。

スクラッチ再生を開始します。

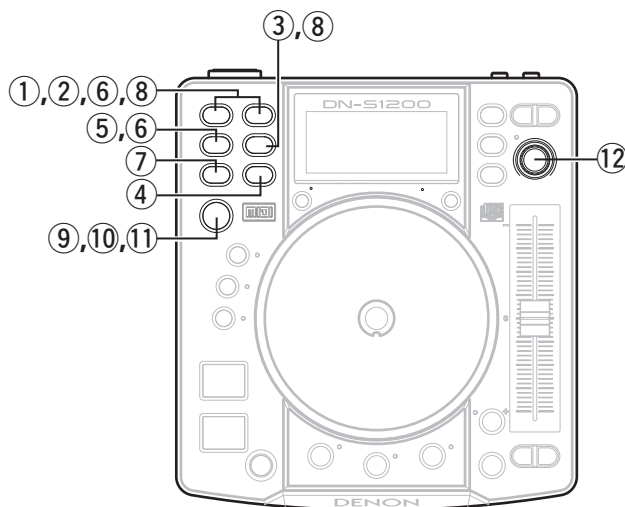


3 スクラッチ再生を終了する。

- スクラッチディスクから手を離す。

スクラッチ再生を終了し、再生またはポーズになります。





シームレスループ / ホットスタート / スタッター

シームレスループ再生 / ホットスタート再生 / スタッター再生

1 A ポイントを設定する。

- ① **A1 ボタン**または**A2 ボタン**を押す。
A ポイントが設定されます。



※**A1 ボタン**、**A2 ボタン**はそれぞれホットスタートを分けて使用できます。

※A ポイントを設定すると“A”、“C”表示が点灯し、ホットスタートモードになります。

※BPM はホットスタートごとに独立して、自動的に設定されます。

2 ホットスタート再生を開始する。

- ② **A1 ボタン**または**A2 ボタン**を押す。
A ポイントからホットスタート再生が開始します。



3 シームレスループ再生を開始する。

- ③ A ポイント設定後、またはホットスタート再生開始後 **B ボタン**を押す。
B ポイントが設定され、A ポイントからシームレスループ再生を開始します。



※B ポイントは **B ボタン**を押す前の A ポイントに対して設定されます。

シームレスループ中またはシームレスループを抜けた後 B ボタンを押す。

B ボタンが押された位置に B ポイントが移動します。

※B ポイントが設定されると“B”と“C”表示が点灯します。

4 シームレスループ再生をおこなう。

※A1-B ループ再生中、B ポイントを検知するとシームレスループの A1 ポイントに戻ります。

※A2-B ループ再生中、B ポイントを検知するとシームレスループの A2 ポイントに戻ります。A2-B ループ中は A1-B ループの B ポイントは無視されます。

5 ループから抜ける / ループに戻る。

- ④ **EXIT/RELOOP ボタン**を押す。
シームレスループから抜けたり、シームレスループへ戻ることができます。



EXIT :

シームレスループから抜けられます。DN-S1200 はシームレスループから抜けると B ポイント以降を再生し続けます。

RELOOP :

シームレスループを抜けた後に **EXIT/RELOOP ボタン**を押すとシームレスループの A ポイントから再生をおこないます。

6 スタッター再生をおこなう。

- A1 ボタン**または**A2 ボタン**はスタッター再生をおこなうことも可能。



- ⑤ **FLIP ボタン**を押す。

“C” “C” 表示が消灯し、スタッター再生ができます。

※**FLIP ボタン**を押すごとにホットスタート / シームレスループとスタッター再生が切り替わります。

7 A1/A2 ポイントを消去する

- ⑥ **FLIP ボタン**を押しながら **A1 ボタン**または**A2 ボタン**を押す。



A1-B ループまたは A2-B ループを消去します。



※**FLIP ボタン**を 1 秒以上押し続けると A、B 全てのポイントを一度に消去できます。また **FLIP ボタン**を押しながら **B ボタン**を押すと最後に再生した B ポイントのみを消去できます。



デバイスが変更されたり、プレイリスト再生モードでプレイリストが変更された場合は強制的に A1 または A2 ポイントは消去されます。

A/B トリム

シームレスループの A ポイントおよび B ポイントの位置をスクラッチディスクで微調整できます。
ループ再生音を聞きながら微調整することができます。

1 ⑦ シームレスループ動作中に **A/B TRIM** ボタンを押して、調整モードをオンにする。

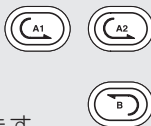
※ループ再生以外の再生中に、**A/B TRIM** ボタンを押した場合は、ネクストファイルモードになります。



2 ⑧ **A1** ボタンまたは **A2** ボタンを押し、A ポイントを選択する。

※現在再生されているループで調整できます。

※**B** ボタンを押すと B ポイントが選択されます。



3 スクラッチディスクを回し、A または B ポイントを調整する。

1 フレーム単位で調整できます。

A ポイント：

A ポイントの± 30 フレーム。ただし B ポイントがある場合は B ポイントの 5 フレーム前まで調整できます。

B ポイント：

A ポイントの 5 フレーム後から曲の終わりまで調整できます。



4 **A** ボタンを押し、A ポイントを確定する。

確定されると自動的に A/B トリムモードは終了します。



オート BPM カウンター

再生中または CUE スタンバイ中の曲の BPM を自動計測して表示します。

- オート BPM カウンターがオフのとき、**TAP** ボタンを約 1 秒以上押しているとオート BPM カウンターがオンになります。
- オート BPM カウンターがオフのとき、曲が変わるとオート BPM カウンターがオンになります。

ご注意

曲によっては、BPM を正しく自動計測でない場合があります。このようなときは、“TAPPING” または “MANUAL INPUT” をおこなってください。

1 BPM LOCK

オート BPM で計測したデータがロックされる。

⑨ オート BPM カウンターがオンのとき **TAP** ボタンを短く 1 回押す。

“BPM LOCK” が 1 秒間表示されます。



2 TAPPING

TAP ボタンを繰り返し押す間隔により BPM が計測される。

TAP ボタンを押すとオート BPM カウンターオフにします。

⑩ 曲のビートに合わせて **TAP** ボタンを 5 ～ 10 回繰り返し押す。



3 MANUAL INPUT

⑪ **TAP** ボタンを 2 秒以上押し続ける。
BPM マニュアルインプットが可能になります。

“Manual In” が表示されます。

⑫ **PARAMETERS** ノブを回して直接 BPM 値を入力する。



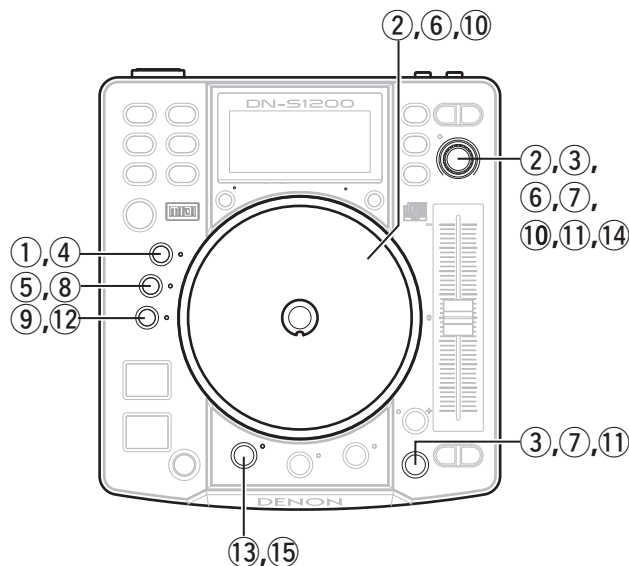
※ **PARAMETERS** ノブを押しながら回すと小数点以下の値を入力できます。

※ **TAP** ボタンをもう一度押すと入力した値を確定し、BPM 値がロックされます。



ご注意

MP3 または WAV ファイルにメタデータ BPM 情報が含まれる場合この情報をより詳細な情報として、AUTO/TAP/MANUAL による値を無視することができます。



エフェクター

3種類の中から1つ選択できます。

ECHO/LOOPのパラメーター設定

1 エコー / ループをオンする。

① **ECHO/LOOP** ボタンを押す。
ECHO/LOOP LED が点灯し、パラメーター設定画面を表示します。

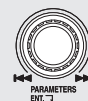


※**ECHO/LOOP** がオンの状態（ボタン LED が点灯）で **ECHO/LOOP** ボタンをもう一度押すとパラメーター設定画面を表示します。

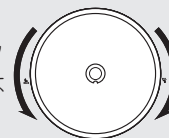
2 エコー / ループのパラメータを設定する。

② **PARAMETERS** ノブまたはスクラッチディスクを回し、エコー / ループのパラメータを設定する。

PARAMETERS ボタンが点滅しエコー / ループのパラメーターを **PARAMETERS** ノブとスクラッチディスクで設定できます。



※Echo Feedback Level は ス ク ラ ッ チ デ ィ ス ク で、Echo Delay Time は **PARAMETERS** ノブで設定できます。



3 エコー / ループ再生をする。

Feedback Level を最大にすると、指定した Delay Time でエコー / ループ再生を開始します。

※エコー / ループ再生中は曲を検索したり、ファイル再生モードとプレイリスト再生モードを切り替えたりすることができます。

ループフェードアウト：

パラメーター選択モードでエコー / ループ中にバックキューまたはネクストトラックモードをオンにするとパラメーター選択モードがオフします。

新しい曲を選択して再生を始めるとエコー / ループ再生がフェードアウトして停止します。エコー / ループ再生と通常再生はスムーズに切り替えることができます。

4 ③ **PARAMETERS** ボタンまたは **JOG MODE** ボタンを押すとパラメータ設定画面を終了する。



5 ④ エコー / ループパラメーター設定画面を表示している状態で **ECHO/LOOP** ボタンを押す。 エコー / ループがオフします。



FLANGERのパラメーター設定

1 ⑤ **FLANGER** ボタンを押す。

FLANGER LED が点灯し、パラメーター設定画面を表示します。



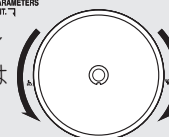
※**FLANGER** ボタンがオンの状態（ボタン LED が点灯）で **FLANGER** ボタンをもう一度押すとパラメーター設定画面を表示します。

2 ⑥ **PARAMETERS** ノブまたはスクラッチディスクを回し、フィルターのパラメータを設定する。

パラメーター設定中は **FLANGER** ボタンと **PARAMETERS** ボタンが点滅します。



※**FLANGER** Depth は ス ク ラ ッ チ デ ィ ス ク で、**FLANGER** Delay Time は **PARAMETERS** ノブで設定できます。



3 ⑦ **PARAMETERS** ボタンまたは **JOG MODE** ボタンを押すとパラメータ設定画面を終了する。



4 ⑧ フランジャーパラメーター設定画面を表示している状態で **FLANGER** ボタンを押す。 フランジャーがオフします。



FILTER のパラメーター設定

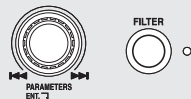
- 1** ⑨ **FILTER** ボタンを押す。
FILTER LED が点灯し、パラメーター設定画面を表示します。



※ **FILTER** がオンの状態（ボタン LED が点灯）で **FILTER** ボタンをもう一度押すとパラメーター設定画面を表示します。

- 2** ⑩ **PARAMETERS** ノブまたはスクラッチディスクで、フィルターのパラメータを設定する。

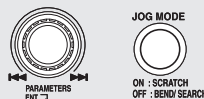
パラメーター設定中は **FILTER** ボタンと **PARAMETERS** ボタンが点滅します。



※ Filter Band width はスクラッチディスクで、Filter types は **PARAMETERS** ノブで設定できます。



- 3** ⑪ **PARAMETERS** ノブまたは **JOG MODE** ボタンを押すとパラメータ設定画面を終了する。



- 4** ⑫ フィルター設定画面を表示している状態で **FLANGER** ボタンを押す。
フィルターがオフします。



プッターエフェクト

BRAKE 動作時間の設定

ターンテーブルが再生状態からゆっくり再生を停止する状態をシミュレートします。

- 1** ⑬ **BRAKE** ボタンを押す。
ブレーキモードオンになり、**BRAKE** と **PARAMETERS** ボタンが3秒間点滅し、ブレーキ動作時間が表示されます。



- 2** ⑭ ブレーキ動作時間を **PARAMETERS** ノブを回して設定する。

動作時間が確定され、動作時間選択モードを終了します。



※最初に **BRAKE** ボタンを押した後や **PARAMETERS** ノブで調整をおこなった後に3秒間なにも操作をしないときには、自動でブレーキ動作時間選択を終了します。



ブレーキを動作させる

- 1** 再生中に ▶ || ボタンを押す。



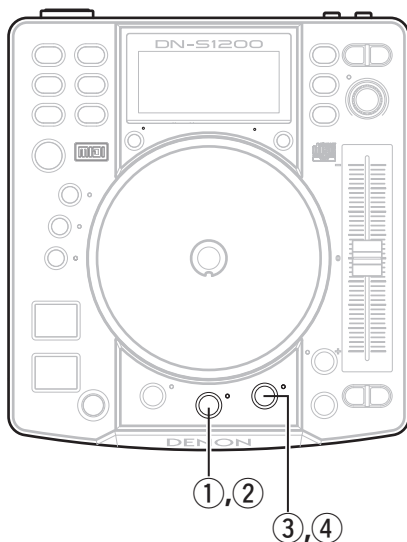
- 2** ブレーキ動作を解除するには ブレーキ動作をしている間にもう一度 ▶ || ボタンを押す。
ブレーキ動作を解除します。



□ ブレーキモードをオフする

- ⑮ ブレーキ動作中に **BRAKE** ボタンを押す。
ブレーキモードがオフします。





DUMP 再生

リバース再生とフォワード通常再生を組み合わせたエフェクト再生をおこなうことができます。

- ① 再生中に **DUMP** ボタンを押す。
ダンプ再生が始まります。



□ ダンプ効果

再生中に **DUMP** ボタンを押す。

- ※ **DUMP** ボタンを押すたびにダンプ再生と通常再生が切り替わります。
- ※ ホットスタートやスタッター再生をおこなうとダンプ再生はオフになります。



□ ダンプ再生をオフする

- ② ダンプ再生に **DUMP** ボタンを押す。
ダンプ再生をオフします。



ご注意

DUMP 時間の効果は最大 4 秒です。

REVERSE 再生

- ③ 再生中に **REVERSE** ボタンを押す。
リバース機能がオンになり、リバース再生が始まります。



□ リバース効果

再生中に **REVERSE** ボタンを押す。

- ※ **REVERSE** ボタンを押すたびにリバース再生と通常再生を切り替えます
- ※ ホットスタートやスタッター再生をおこなうとリバース再生はオフになります。



□ リバース再生をオフする

- ④ リバース機能がオンのときに **REVERSE** ボタンを押す。
リバース再生をオフします。



ご注意

Single モードでリバース再生中は、曲の先頭になると Cue ポイントでスタンバイします。

メモ機能（カスタムセッティングメモリー）

あらかじめお好みのホットスタートポイントやシームレスループの A、B ポイントなどをメモリーに記憶し、ライブなどでの短時間でのセッティングが必要な場合、データを読み出して自動セッティングしてくれる機能です。

メモ機能について

記憶することができるデータは再生モードによって異なります。

① CD 再生モードの場合

- 1トラック1メモリとし、トータルで最大 5000 メモリが記憶できます。
例えば、22 トラックのディスクであれば、22 個のメモが可能となります。

ご注意

トラックメモ機能のメモリスистемは、1,000 個のメモを 1 パッケージとして扱っています。(1,000 メモを 5 パッケージ) このメモシステムのメモリ消去は 1 パッケージ単位でおこなうため、1 個のメモを消去した場合でもメモ No. は継続されメモリ領域は増えません。そのため、実際に記憶できるメモ数が少なくなります。

5000 個メモを記憶した場合、“Memo Full I” のメッセージが表示されます。その場合、メモの古い順に 1 パッケージ (1,000 個のメモ) のメモリを消去する必要があります。

※ メモデータが存在するディスクをセットすると “MEMO” 表示が点滅します。また、メモデータが存在するトラックを選択すると点灯します。

● 記憶されるデータは次の通りです。

- CUE ポイント
 - A1 と B1 ポイントおよび A2 と B2 ポイント
 - 再生スピード、ピッチ オン / オフ、キーアジャスト オン / オフの設定
 - BPM データ (CUE、A1、A2)
- A1、A2、B1 および B1 ポイントは同じ CD に限り、CD 内の違うトラックに存在することもあります。

② USB ファイル再生モードの場合

- メモデータは MP3/WAV ファイル自体に記憶されます。
一旦メモデータをファイルに記憶すれば、そのデータを読み出すことができ、違う DN-S1200 でデータを記憶したファイルを再生する場合、データを使用することができます。

● 記憶されるデータは次の通りです。

- CUE ポイント
 - A1 と B1 ポイントおよび A2 と B2 ポイント
 - 再生スピード、ピッチ オン / オフ、キーアジャスト オン / オフの設定
 - BPM データ (CUE、A1、A2) ポイントデータは同じファイル内のデータに限ります。
- データがメモリーされているファイルを選択したとき、MEMO インジケータが点灯します。
 - VBR ファイルは、メモ機能を使用できません。

③ USB プレイリスト再生モードの場合

- メモデータはプレイリスト内のファイル自体に記憶されます。従ってメモデータがメモリーされたプレイリストを持ち運び、違う DN-S1200 でデータを記憶したプレイリストを再生するとそのデータを読み出して使うことができます。
- メモデータはプレイリストに登録されたファイルと同じ数だけ記憶できます。例えば、プレイリストに 74 ファイル登録されている場合、プレイリストには 74 個のメモデータを記憶できます。

● 記憶されるデータは次の通りです。

- CUE ポイント
 - A1 と B1 ポイントおよび A2 と B2 ポイント
 - 再生スピード、ピッチ オン / オフ、キーアジャスト オン / オフの設定
 - BPM データ (CUE、A1、A2) ポイントデータは同じファイル内のデータに限ります。
- データがメモリーされているファイルを選択したとき、MEMO インジケータが点灯します。
 - VBR ファイルは、メモ機能を使用できません。

メモ設定をおこなうには

① CUE スタンバイ中に **MEMO** ボタンを押すと、メモ設定になります。

② **PARAMETERS** ノブを回して次の中からメモ機能を選択します。

Memo Set(デフォルト)、Memo Call、Memo Clr

状態によっては選択できない機能もあります。

③ メモ設定から抜けるには **MEMO** ボタンをもう一度押します。

(1) メモデータを記憶する **[Memo Set]**

- メモデータを作成した後に **CUE** ボタンを押します。
- CUE スタンバイ中は “MEMO” は表示されません。**MEMO** ボタンを押すと MEMO set モードになり、“Memo Set ?” が表示されます。
- “MEMO” が表示されている場合、新しくデータを記憶するには古いデータをクリアすることが必要です。
- PARAMETERS** ボタンを押すと記憶し始めます。完了すると “Complete!” が表示され “MEMO” 表示が点灯します。
- メモモードが使えないときは、デバイスの残りの記憶容量を確認してください。残りの記憶容量が少ない場合はメモデータが記憶されない場合があります。
- CD メモデータが一杯になったら …

メモデータが一杯になったら “Memo Full”、“Delete 1000 ?” のメッセージが表示されます。この場合、古いメモから 1,000 個のメモリを消去し、新たなスペースを作る必要があります。スペースを作るには、“Delete 1000” が表示されているときに、**PARAMETERS** ボタンを押します。更に消去再確認のメッセージ “Delete OK?” が表示されているとき、**PARAMETERS** ボタンを押すと 1,000 個のメモリが消去されます。

(2) メモデータを呼び出す【MEMO Call】

- メモデータが記憶されているファイルを読み出すとき、“MEMO”表示が最大約5秒間点滅します。
- メモデータを記憶したファイルを選択すると、“MEMO”表示が点灯します。
- MEMO** ボタンを押すと、MEMO Call モードになり“Memo Call?”が表示されます。
- PARAMETERS** ボタンを押すと、記憶したデータが呼び出されます。データの呼び出しが終了すると記憶された CUE ポイントでスタンバイ状態になります。
- メモデータから再生スピードが呼び出されると、実際の再生スピードとピッチスライダーで選択している再生スピードが異なるためにピッチロックされます。この場合 PITCH LED が点滅し、実際の再生スピードとピッチスライダーで選択している再生スピードが異なることをお知らせします。ピッチスライダーを動かして、ピッチ表示の値と同じ値を選択すると、PITCH LED が点灯にかわりピッチロックが解除されます。

ご注意

MP3 のファイル状態によっては MEMO Call が完了されない場合があります。

(3) メモデータを消去する【Memo Clr】

- メモデータを記憶したファイルを選択します。
- MEMO** ボタンを押すと MEMO Call モードになります。
- PARAMETERS** ノブを回して“Memo Clr”を表示させます。
- PARAMETERS** ボタンを押すとメモデータが消去され、“MEMO”表示も消灯します。
- CD メモは、ユーティリティモードで一括消去することができます。(ユーティリティの Memo Data モード“ALL Clear”(P.25 ページ)を参照してください。)

(4) メモデータを共有する

2 台の DN-S1200 が D-Link で接続されているとき、メモデータを共有することができます。メモデータを共有することで、最大 10,000 メモリまで記憶が可能になります。

ご注意

2 台の DNS-1200 に同じトラックのメモデータがある場合は、メモを読み出す DN-S1200 にあるメモデータを読み出します。D-Link 先のメモデータを消去することはできません。消去する場合は、該当データが保存されている DN-S1200 で行ってください。
ディスクがセットされた後に修正されたメモは共有できません。

文字入力について

DN-S1200 では、ファイル名などを検索するのにキーボードを使って文字を入力することが可能です。
コンピューターのキーボードを操作する感覚で効率的に文字を入力することができます。

キーボードを使った文字入力のしかた

1 文字を入力する。

※キーボードから入力された文字は入力した文字列の最後に追加されます。

2 入力した文字を消去する。

※“BACK SPACE”キーを使って入力した文字を消去します。

3 入力した文字を確定する。

※“ENTER”キーを押すと入力した文字が確定され、次の画面へ遷移します。

ご注意

DN-S1200 で使用可能な文字は下の表の通りです。使用可能な文字は文字入力対象によって違います。

	ID3 Tag (ASCII/Unicode (UTF-8/UTF-16))	File Name/ Playlist Name	ID3 Tag (Genre)
Alphabet	ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ abcdefghijklmnopqrstuvwxyz	ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ abcdefghijklmnopqrstuvwxyz	ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ abcdefghijklmnopqrstuvwxyz
Numbers	0123456789	0123456789	0123456789
Symbols	Space ! " # \$ % & ' () * + , - . / : ; < = > ? @ [\] ^ _ ` { } ~	Space ! " # \$ % & ' () * + , - . ; = @ [] ^ _ ` { } ~	Space & () + ...
ISO 8959-1	¡ ¢ £ ¤ ¥ ¨ ¯ ± ² ³ µ ¶ · ¸ ¹ º » ¼ ½ ¾ ¿ À Á Â Ã Ä Å Æ Ç È É Ê Ë Ì Í Î Ï Ñ Ò Ó Ô Õ Ö × Ù Ú Û Ü Ý Þ ß à á â ã ä å æ ç è é ê ë ì í î ï ð ñ ó ô õ ö ÷ ø ù ú û ü ý þ	¡ ¢ £ ¤ ¥ ¨ ¯ ± ² ³ µ ¶ · ¸ ¹ º » ¼ ½ ¾ ¿ À Á Â Ã Ä Å Æ Ç È É Ê Ë Ì Í Î Ï Ñ Ò Ó Ô Õ Ö × Ù Ú Û Ü Ý Þ ß à á â ã ä å æ ç è é ê ë ì í î ï ð ñ ó ô õ ö ÷ ø ù ú û ü ý þ	¡ ¢ £ ¤ ¥ ¨ ¯ ± ² ³ µ ¶ · ¸ ¹ º » ¼ ½ ¾ ¿ À Á Â Ã Ä Å Æ Ç È É Ê Ë Ì Í Î Ï Ñ Ò Ó Ô Õ Ö × Ù Ú Û Ü Ý Þ ß à á â ã ä å æ ç è é ê ë ì í î ï ð ñ ó ô õ ö ÷ ø ù ú û ü ý þ

ご注意

Latin-1 のキャラクターを使いながら、いくつかの検索をすることができます。プリセット時には“Region”に設定されていますので、必ず地域の設定をしてください。

ユーティリティー

DN-S1200 には以下に示すユーティリティーがあります。

DB Create:

接続されている外部 USB メモリーデバイスにデータベースを作成します。これにより DN-S1200 で MP3/WAV ファイルが検索できるようになります。

Preset Data:

Preset の内容をデバイスにデータと保存したり、読み出したりします。

Memo Data:

CD メモデータの内容をデバイスに保存したり、読み出したりします。

内蔵の CD メモデータの内容を削除します

Initialize:

接続されている外部 USB デバイスをフォーマットします。また、プリセット設定・メモデータの内容を工場出荷状態に戻します。

ユーティリティーモード

- 1 スタンバイ中、ポーズ中またはファイルが選択されていないときに **UTILITY** ボタンを 1 秒以上押し続ける。



- 2 **PARAMETERS** ノブを使ってユーティリティーの項目を選択する。



- 3 ユーティリティーモード中、**UTILITY** ボタンを押し、ユーティリティーモードをオフにする。



DB Create

接続されている外部 USB デバイスにデータベースを作成します。それにより DN-S1200 で MP3/WAV ファイルが検索できるようになります。

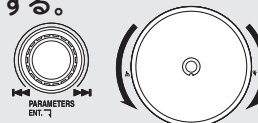
ご注意

デバイスにデータベースが作成された場合には、データベースはリセットされ、作成されたプレイリストは消去されます。

DB Create モード

- 1 ユーティリティーモードのトップメニュー表示中 **PARAMETERS** ノブまたはスクラッチディスクを回し、“DB Create”を選択する。

※外部 USB デバイスが接続されていない場合は、選択することができません。



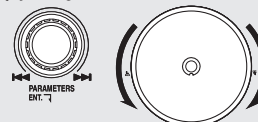
- 2 **PARAMETERS** ボタンを押して決定する。“DB Create”の項目が表示されます。



データベース作成

- 1 データベースを作成する。
DB Create のトップメニュー表示中 **PARAMETERS** ノブまたはスクラッチディスクを回し、“Full Create”を選択する。

データベース作成モードになります。



- 2 作成するかどうかの確認をおこなう。

“OK”を選択した場合：

接続されている外部 USB メモリーデバイスにデータベースを作成します。進行状況を表示します。

“Cancel”を選択した場合：

接続されている外部 USB メモリーデバイスにデータベースを作成しません。画面は操作 1 のときの表示に戻ります。

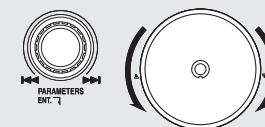
テンポラリーデータベース作成

テンポラリーデータベースをおこなうとファイルネームだけ検索できるようになります。

データベースの作成はフルで作成するより速く作成できます。

※ID3 tag を使った検索はできません。

- 1 テンポラリーデータベースを作成する。
DB Create のトップメニュー表示中 **PARAMETERS** ノブまたはスクラッチディスクを回し、“Temporary”を選択する。



- 2 作成するかどうかの確認をおこなう。

“OK”を選択した場合：

接続されている外部 USB メモリーデバイスにテンポラリーデータベースを作成します。進行状況を表示します。

“Cancel”を選択した場合：

接続されている外部 USB メモリーデバイスにテンポラリーデータベースを作成しません。画面は操作 1 のときの表示に戻ります。

ご注意

iPod は、ファイルネーム検索ができないため、テンポラリーデータベースは使用できません。

プリセットデータモード

Preset の内容をデバイスにデータと保存したり、読み出ししたりします。

プリセットデータモード

- 1 ユーティリティモードのトップメニュー表示中 **PARAMETERS** ノブまたはスクラッチディスクを回し、“PRESET Data”を選択する。



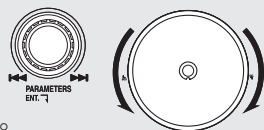
- 2 **PARAMETERS** ボタンを押し、決定する。“PRESET Data”の項目が表示されます。



Preset Import (プリセット読み込み)

- 1 PRESET のトップメニュー表示中 **PARAMETERS** ノブまたはスクラッチディスクを回して“Preset Import”を選択する。

内蔵データを上書きするか、確認メッセージが表示されます。



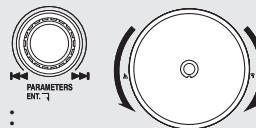
※セットは Preset Import モードになります。

- 2 設定項目を選択する。

“OK”を選択した場合：
インポートを実行します。完了すると操作 1 に戻ります。
“Cancel”を選択した場合：
操作 1 に戻ります。

Preset Export (プリセットデータ転送)

- 1 PRESET のトップメニュー表示中 **PARAMETERS** ノブまたはスクラッチディスクを回し、“Preset Export”を選択する。



外部 USB メモリーデバイス
にプリセットデータがない場合：

Export を実行します。

外部 USB メモリーデバイスにプリセットデータがある
場合：

上書するか確認メッセージが表示されます。

操作 2 へ。

- 2 設定項目を選択する。

“OK”を選択した場合：

Export を実行する。

プログレスバーが表示され、進行状況を確認できます。
完了すると操作 1 に戻ります。

“Cancel”を選択した場合：

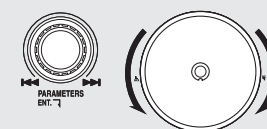
操作 1 に戻ります。

メモデータ

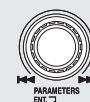
CD メモデータの内容をデバイスに保存したり、読み出ししたりします。内蔵の CD メモデータの内容を削除します。

メモデータモード

- 1 ユーティリティモードのトップメニュー表示中 **PARAMETERS** ノブまたはスクラッチディスクを回し、“MEMO Data”を選択する。



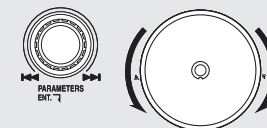
- 2 **PARAMETERS** ボタンを押し、決定する。“MEMO Data”の項目が表示されます。



Memo Import (メモデータ読み込み)

- 1 MEMO のトップメニュー表示中 **PARAMETERS** ノブまたはスクラッチディスクを回し、“MEMO Import”を選択する。

内蔵データ上書き確認メッセージが表示されます。



※セットは Memo Import モードになります。

- 2 設定項目を選択する。

“OK”を選択した場合：
インポートを実行します。完了すると操作 1 に戻ります。
“Cancel”を選択した場合：
操作 1 に戻ります。

Memo Export (メモデータ転送)

- MEMO のトップメニュー表示中 **PARAMETERS** ノブまたはスクラッチディスクを回して“MEMO Export”を選択する。

外部 USB メモリーデバイスにプリセットデータがない場合：

Export を実行します。

外部 USB メモリーデバイスにプリセットデータがある場合：

データを上書するか確認のためのメッセージが確認メッセージが表示されます。

操作 2 へ。



- 設定項目を選択する。

“OK” を選択した場合：

Export を実行します。プログレスバーが表示され、進行状況を確認できます。完了すると操作 1 に戻ります。

“Cancel” を選択した場合：

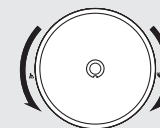
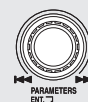
操作 1 に戻ります。

Initialize

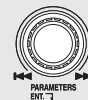
接続されている外部 USB デバイスを Format します。また、Preset 設定・メモデータの内容を工場出荷状態に戻します。

Initialize モード

- ユーティリティーモードのトップメニュー表示中 **PARAMETERS** ノブまたはスクラッチディスクを回し、“Initialize”を選択する。



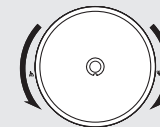
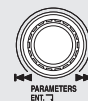
- PARAMETERS** ボタンを押し、決定する。
“Initialize”の項目が表示されます。



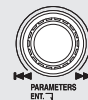
USB Format (外部 USB デバイスフォーマット)

- Initialization のトップメニュー表示中 **PARAMETERS** ノブまたはスクラッチディスクを回し、“USB Format”を選択する。

※セットは Format モードになります。



- PARAMETERS** ボタンを押し、決定する。
画面に確認メッセージが表示されます。



“OK” を選択した場合：

フォーマットを開始します。

フォーマットが開始されるとプログレスバーが表示され、進行状況を確認できます。

“Cancel” を選択した場合：

USB Format をせずに操作 1 に戻ります。

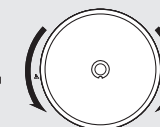
ご注意

- この操作は外部 USB メモリーデバイスの内容をすべて消去します。
- この操作をするときは十分注意して実施してください。

S1200 Init. (工場出荷状態に戻す)

- Initialize のトップメニュー表示中 **PARAMETERS** ノブまたはスクラッチディスクを回し、“S1200 Init.”を選択する。

※セットは S1200 init. モードになります。



- PARAMETERS** ボタンを押し、決定する。
画面に確認メッセージが表示されます。



“OK” を選択した場合：

工場出荷状態にします。

“Cancel” を選択した場合：

S1200 Init. せずに操作 1 に戻ります。

ご注意

- この操作は、DN-S1200 に記憶されているの内容をすべて消去します。
- この操作をするときは十分注意して実施してください。

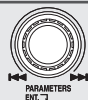
プリセット

プリセットするには

- 1 ファイル検索モード、スタンバイまたはポーズ状態のとき、**PRESET** ボタンを 1 秒以上押す。プリセット設定画面が表示される。



- 2 **PARAMETERS** ノブを押し、決定する。



- 3 **PARAMETERS** ノブを回してプリセット項目を選択する。



- 4 項目を選択したら、**PARAMETERS** ボタンを押してプリセット項目を変更する。



- 5 **PARAMETERS** ノブを回してプリセットデータを選択する。



- 6 データを選択後、**PARAMETERS** ボタンを押し、プリセットデータを変更する。



※複数のプリセットを設定する場合、操作 2 ～ 5 を繰り返します。

- 7 **PRESET** ボタン、**CUE** ボタンまたは **▶ ||** ボタンを押し、プリセット設定を終了する。



プリセットできる項目およびデータ

* 印は、工場出荷時のデフォルトデータになります。

- (1) Cue Mode : DENON*/OTHER
DENON* : 再生をプレイポーズモードから始めたとき、Cue ポイントが設定されます。
OTHER (その他) : **CUE** ボタンをプレイポーズモード中に押したとき Cue ポイントが設定されます。
- (2) Auto Cue : OFF/ - 60dB/ - 54dB*/ - 48dB
Auto Cue レベルの設定。
- (3) Cross fader Level : OFF/ - 60dB/ - 54dB*/ - 48dB
- (4) Next Tr Cfade : OFF/1sec/2sec/3sec*/4sec/5sec
Next Tr で新たなファイルの再生を開始したとき、現在再生しているトラックのフェードアウト時間を選択します。
- (5) 3/4EFFECT : OFF*/ON
エフェクターのエコーとフランジャーのパラメータを選択するとき、3/4 ビート 効果を使用することができます。
- (6) Jump Time : 10sec*/20sec/30sec/1min
クイックジャンプのジャンプ時間を設定します。
- (7) Pitch Range : ± 4% / ± 10%*/ ± 16% / ± 24%
電源投入時のピッチスライダーの再生スピードレンジを選択します。
- (8) EOM (End Of Message) Time : OFF/10sec*/15sec/20sec/30sec/60sec/90sec
曲の終了までの残り時間を設定します。再生中、曲の残り時間が設定された時間になると再生位置表示が点滅してお知らせします。
- (9) Fader Mode (FADER START MODE) : 2LP/Cue*/2LP/Pas/1LP/Cue/1LP/Pas
2 線式 (Play/Cue)、2 線式 (Play/Pause)、1 線式 (Play/Cue)、1 線式 (Play/PAUSE) を選択します。
- (10) Pitch : Pitch ON*/Key AdjON (KEY ADJUST ON) /Pitch OFF
電源投入時のピッチモードを選択します。
- (11) Play Mode : Single/Cont./Play Lock*
(シングル再生) / (連続再生) / (シングル再生 & プレイロック)
電源投入時の再生モードを選択します。
- (12) Time Mode : Elapsed*/Remain
電源投入時の再生時間表示を選択します。
- (13) TT Tricks : ON/OFF*
プレーキ動作時にスクラッチをおこなったときの PLATTER ディスクの操作

- (14) Audio Curve : ON*/OFF
OFF を選択すると Serato Scratch Live のプログラムになります。
SeratoTM についての詳しい情報は “www.scratchlive.net” をご覧ください。
- (15) Search Step : 1Step*/2Step
電源投入時のファイルのサーチステップ数を選択します。
- (16) Playback Mode : File*/Playlist
電源投入時の USB 再生モードを選択します。
- (17) File Search : Artist*/Album/Title/Genre/Year/BPM/File Name/Folder
電源投入時の USB 再生でファイルサーチモードの設定を選択します。
(16) Playback Mode が “File” に設定されていないと、この項目は表示されません。
- (18) Playlist Search : Create*/Favorite/Top40/Playlist Name/Category
電源投入時の USB 再生でプレイリストサーチモードの設定を選択します。
(16) Playback Mode が “Playlist” に設定されていないと、この項目は表示されません。
- (19) BPM Search Range : ± 0 / ± 1 / ± 3* / ± 5 / ± 10
BPM サーチで使用する検索の設定幅を選択します。
- (20) Power On Play : ON/OFF*
“ON” に設定し、かつ CD が入っているときに電源を入れると、その CD の再生がはじまります。
- (21) Relay : ON/OFF*
Relay Mode を ON/OFF にします。
- (22) Region : USA*/Other
“DENON Music Manager” をインストールしている PC の地域設定と同じ仕向け地を選択してください。
- (23) KB Type : ENGLISH (US)* / ENGLISH(UK) / DEUTSCH / FRANCAIS / ITALIANO / ESPANOL / NEOERLANOS / SVENSKA / CHINESE / JAPANESE
使用するキーボードの言語タイプを選択します。
- (24) MIDI CH Set : 1* to 6
MIDI チャンネルを選択します。
- (25) JOG Trns Int : 1ms to 20ms (初期値は 3ms)
MIDI チャンネルを選択します。
- (26) Unit No Set : 1to14/ALL*
機器の Unit 番号を選択します。

【例】

DN-S1200 を 2 台、PC に接続する場合、片方の機器を No.1、もう片方を No.2 等に設定します。

- (27) Version No：DN-S1200 のソフトウェアのバージョン情報を表示します。
- (28) Touch Int.：スクラッチディスクの調整を行います。

1)**PARAMETERS** ボタンを押し “Touch Int” を選択します。
 “Cancel” が表示されます。
 2)**PARAMETERS** ノブを回し “OK” を表示します。
 3)**PARAMETERS** ボタンを押します。
 イニシャル中は “Touch Initial!” が表示されます。
 4) イニシャルが完了すると “Completed!” が表示されます。
- (29) Preset Int：全てのプリセットデータを工場出荷状態に戻します。

1) プリセットデータを初期化するには **PARAMETERS** ボタンを押します。“Preset Int？”が表示されます。
 2)**PARAMETERS** ボタンを押します。イニシャル中は “Preset Initial!” が表示されます。
 3) イニシャルが完了すると “Completed!” が表示されます。

互換性のファイル

外部USBデバイスを使用して演奏するファイルは以下の通りです。

- ご注意

●MP3 のエンコードソフトの種類によってはファイルにノイズが入ったり、再生できないファイルになることがあります。
 ●録音したものは、自身のために使用してください。著作権法により保護されている著作権所有者の権利を侵害するため使用できません。
 ●MP3 ファイルで、ピッチが 24%以上の場合の再生はできません。

MP3/WAV FORMAT

MP3 フォーマット	MPEG-1	Audio Layer-3 40-320kbps、f/s 44.1kHz、ステレオ
	ID-3 TAg	V1.0、V1.1、V2.2、V2.3、V2.4 (ASCII+ISO8859-1 (北米))
	Encoding	C.B.R、V.B.R.
WAV フォーマット	PCM	16bit f/s 44.1kHz
	Metadata Tag	サポート


 .m3u と .xml のプレイリストは DENON DJ MUSIC Manager でのみサポートされています。

保証とサービスについて

- 1 この商品には保証書が添付されております。
保証書は所定事項をお買い上げの販売店で記入してお渡し致しますので、記載内容をご確認のうえ大切に保存してください。
- 2 保証期間は、お買い上げ日より 1 年間です。万一故障した場合には、保証書の記載内容により、お買い上げの販売店またはお近くの修理相談窓口が修理を申し受けます。
但し、保証期間内でも保証書が添付されない場合は、有料修理となりますので、ご注意ください。
詳しくは、保証書をご覧ください。
- ※ 修理相談窓口については、付属品『製品のご相談と修理・サービス窓口一覧表』をご参照ください。
- 3 保証期間後の修理については、お買い上げの販売店またはお近くの修理相談窓口にご相談ください。
修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理致します。
- 4 本機の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後 8 年です。
- 5 お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がございますので、あらかじめご了承ください。
- 6 この商品に添付されている保証書によって、保証書を発行している者（保証責任者）およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
- 7 保証および修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはお近くの修理相談窓口にご相談ください。

※ 弊社製品のお問い合わせについては、お客様相談センターにご連絡ください。

詳しくは、付属品『製品のご相談と修理・サービス窓口一覧表』をご参照ください。

主な仕様

□ 総合

形式：

メディアタイプ：

CD/USB メディアプレーヤー&コントローラー

スタンダードコンパクトディスク（12cm）、CD-TEXT、CD-R、CD-RW ディスク

※ DN-S1200 はファイナライズされた CD-R、CD-RW ディスクを再生することができます。但し、録音状態などにより、一部の CD-R、CD-RW ディスクは再生できないことがあります。CD-R、CD-RW ディスクに記録された MP3 ファイルは再生できません。

USB マスストレージデバイス（USB HDD USB フラッシュ）
215（幅）× 87.4（高さ）× 232（奥行き）mm（パネル面まで）
3.2kg

外形寸法：

質量：

電源電圧：

消費電力：

動作温度：

動作湿度：

保存温度：

AC100V 50Hz/60Hz

10W

5 ～ 35℃

25 ～ 85%

－ 20 ～ 60℃

□ オーディオ

量子化：

サンプリング周波数：

全高調波ひずみ率：

SN 比：

チャンネルセパレーション：

周波数特性：

• アナログ出力

出力レベル：

• デジタル出力

出力フォーマット：

出力レベル：

16bit リニア / チャンネル

44.1kHz（通常再生時）

0.05%以下

100dB 以上（A カーブ）

100dB 以上

20 ～ 20kHz、± 0.5dB

2.0Vr.m.s.

IEC958-Type2

0.5Vp-p 75 Ω

機能

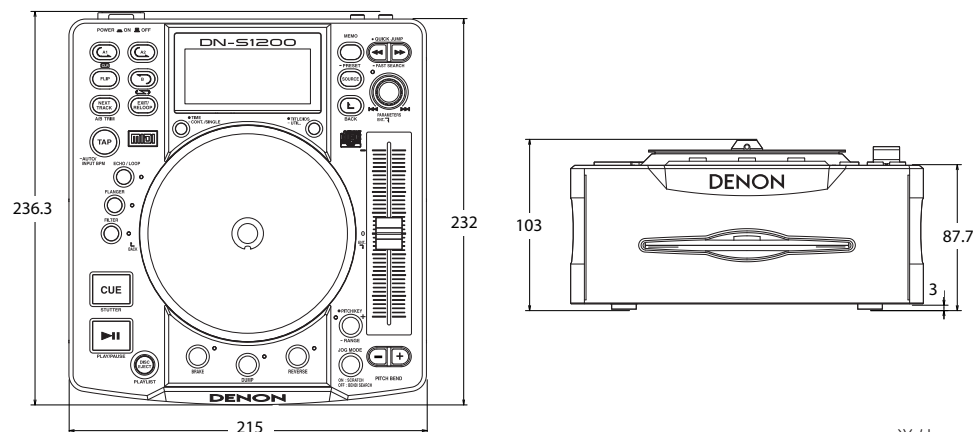
インスタントスタート：	20msec 以内
バリエブルピッチ：	± 4% (0.02%ピッチで変化)
	± 10% (0.05%ピッチで変化)
	± 16% (0.05%ピッチで変化)
	± 24% (0.1%ピッチで変化)
	± 50% (0.5%ピッチで変化)
	± 100% (1.0%ピッチで変化)
ピッチベンド：	ピッチ範囲 ± 4%～± 24%：± 32%
	ピッチ範囲 ± 50%～± 100%：－ 99%～+100%
フレームサーチ精度：	1/75 秒
最大ファイル数：	50,000 ファイル / デバイス
最大プレイリスト数：	1,000 ファイル / デバイス
最大プレイリストファイル数	99/ プレイリスト
最大フォルダ数	5,000/ デバイス
最大フォルダファイル数：	1,000/ フォルダ
最大ミュージックタイトル数：	50,000/ デバイス
最大アーティスト数：	20,000/ デバイス
最大アルバムタイトル数：	10,000/ デバイス
最大ジャンル数：	500/ デバイス

※仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがあります。

※本機を使用できるのは日本国内のみで、外国では使用できません。

※本気は国内使用です。必ず AC100V の電源コンセントに差し込んでご使用ください。

AC100V 以外の電源には絶対に接続しないで下さい。



単位：mm

株式会社 ディーアンドエムホールディングス

〒104-0033 東京都中央区新川1-21-2
茅場町タワー

国内営業本部

TEL: **03-6731-5588**

【電話番号はお間違えないようにおかけください。】

受付時間 9:30～12:00、12:45～17:30
(弊社休日および祝日を除く、月～金曜日)

故障・修理・サービス部品についてのお問い合わせ先（サービスセンター）については、
次のURLでもご確認できます。

<http://dm-pro.jp>

後日のために記入しておいてください。

購入店名:	電話 (- -)
ご購入年月日:	年 月 日